

34.広島県

目次

広島県	34	-	4
1. 広島医療圏	34	-	10
2. 広島西医療圏	34	-	16
3. 呉医療圏	34	-	22
4. 広島中央医療圏	34	-	28
5. 尾三医療圏	34	-	34
6. 福山・府中医療圏	34	-	40
7. 備北医療圏	34	-	46

本書の見方

・「偏差値」について

各医療圏の人口当たり医療資源量の相対的な位置づけを知るために、偏差値を用いている。偏差値の計算方法は以下の通り。図表では偏差値の高低をセルの色分けで表示。

$$\text{偏差値} = 50 + 10 \times \frac{(\text{A医療圏のBの値}) - (\text{Bの全国平均値})}{(\text{Bの標準偏差})}$$

※全国平均とA医療圏のBという指標の値が一致すると偏差値が50になるよう、あえて344医療圏の平均でなく、全国平均値を用いて計算している。正確に計算した偏差値とはやや異なるが、指標が全国平均値と一致すると偏差値は50となり、その地域の指標が全国平均より高いか低いかを判断しやすい。

偏差値	65以上	55～65	45～55	35～45	35未満
セルの色					

・出所情報

図表1	人口、65歳以上人口、75歳以上人口(2015年)、高齢者世帯	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
図表2	要介護者数、要介護3以上人数	平成28年度介護保険事業状況報告(年報)
図表5、6	人口の推移	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月及び日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 を基に各年1月の推計値を算出
	需要の推移	必要なベッド数=(65～74歳人口)×(65～74歳の高齢者施設利用率)+(75～84歳人口)×(75～84歳の高齢者施設利用率)+(85歳以上人口)×(85歳以上の高齢者施設利用率)として算出
図表7	総高齢者施設・住宅定員数	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計
図表7	介護保険施設定員(病床)数	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計
図表7	高齢者住宅定員数	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住(特定施設)の合計
図表8	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表9	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム	
図表10	サ高住(特定施設)、サ高住(非特定施設)	平成30年6月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表11	介護職員数(介護施設等)、看護師数(施設)	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表14	在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月
図表15	回復期病床数	平成29年度病床機能報告 平成29年7月
図表15	地域包括ケア病床数	平成30年5月地方厚生局
図表17	訪問介護、訪問看護、通所介護、通所リハ、訪問入浴、短期入所、居宅介護支援	平成30年6月 介護サービス情報公表システムに基づいて株式会社ウェルネスが市区町村別に集計したもの

都道府県別の地図および医療圏別の図表13、図表16の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1666号)

広島県

■ 人口動態と要介護者の現状

広島県は、人口2,843,990人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は783,315人、高齢化率(65歳以上人口割合)は28%と全国平均レベルである。

要介護数(認定者)は106,577人、要介護認定率は14%と全国平均レベルである。うち要介護3以上は50,297人、要介護者数に占める割合は47%とやや低い。

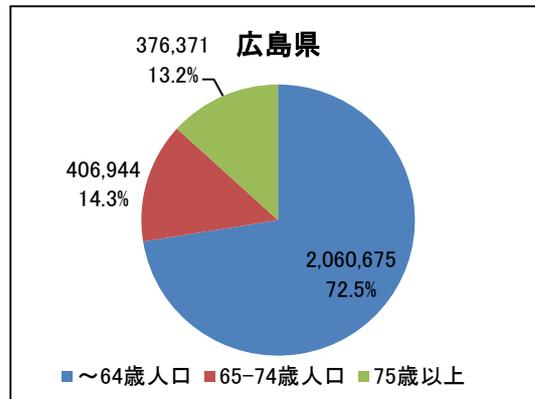
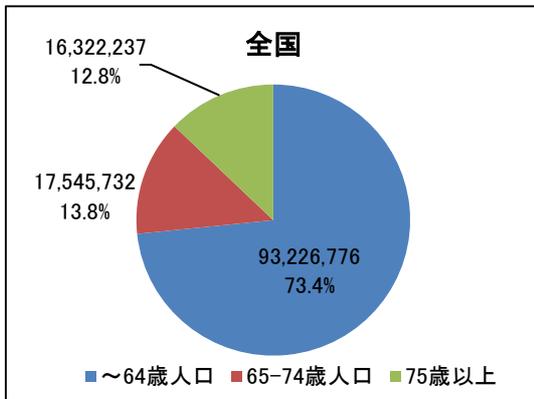
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
広島県	2,843,990	783,315	376,371	28%	52	419,719	37%	34%

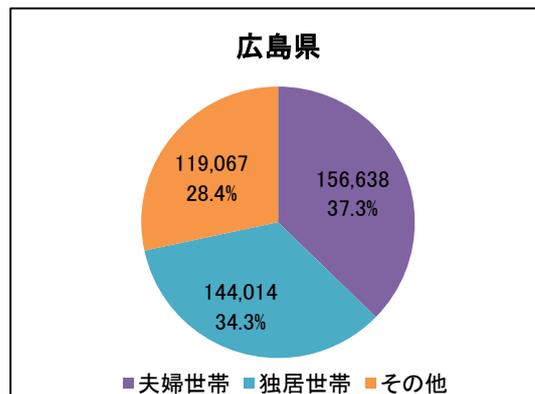
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
広島県	106,577	14%	51	50,297	47%	47

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



広島県

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、広島県の65歳以上人口のピークは2040年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が371,084(251,146+119,938)人であるが、ピーク時の2030年には523,603人まで増加すると推計され、2015年比41%増加する。

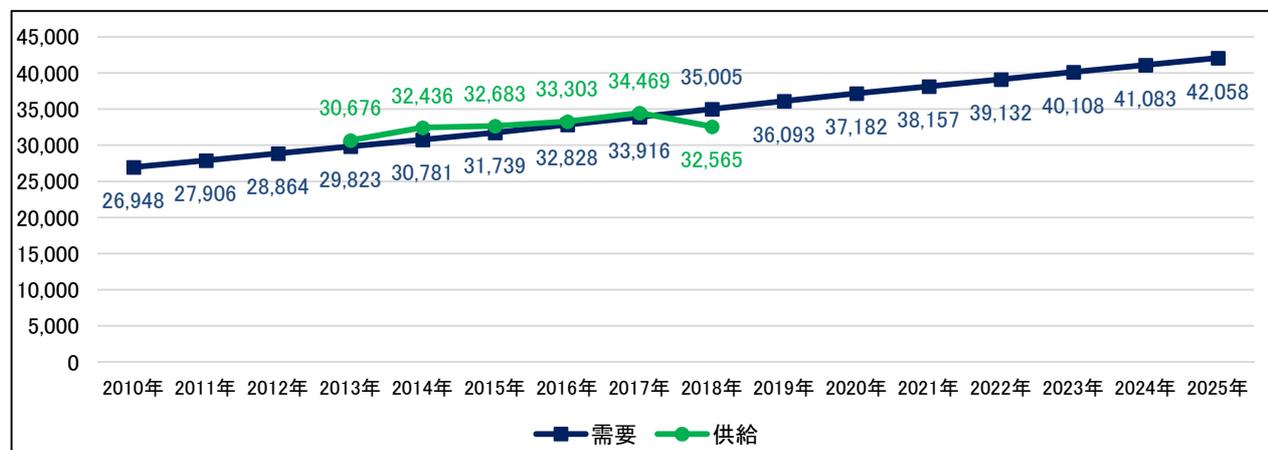
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、広島県の施設需要のピークは2040年の52,636人であり、2015年の31,739人と比べ、66%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、広島県の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要30,781人、供給32,436人と「供給>需要(+5%)」である。2018年は需要35,005人、供給32,565人と「供給<需要(-7%)」である。広島県の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年のやや余裕がある状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



広島県

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、35,806人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が24,401床(偏差値53)、高齢者住宅等が11,405床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム47、軽費ホーム50、グループホーム55、サ高住(特定施設)54である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値59と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値57と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
広島県	35,806	2.4%	95	53	24,401	2.4%	65	53	11,405	2.4%	30	51

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
広島県	9,122	2.5%	24	53	12,680	2.2%	34	48	2,599	4.4%	6.9	58

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
広島県	4,408	1.9%	11.7	47	517	2.2%	1.4	50	5,690	2.8%	15.1	55

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

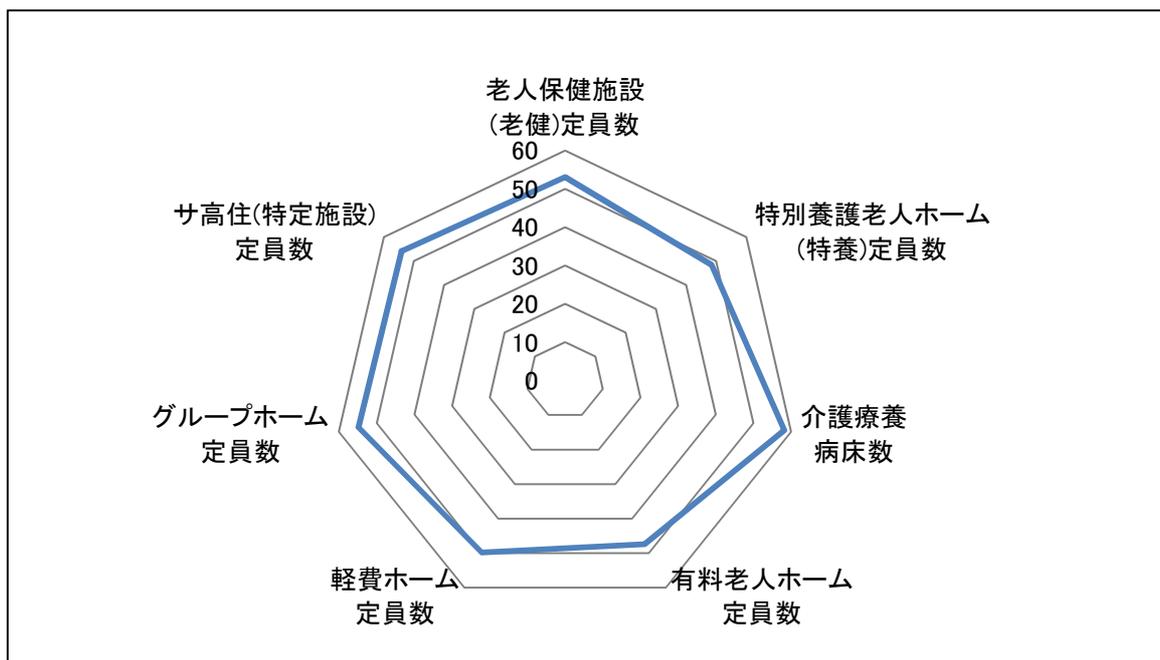
二次医療圏	サ高住(特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
広島県	790	3.6%	2.1	54	209,785		12.9	(6.8)
					6,309	3.0%	16.8	56

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

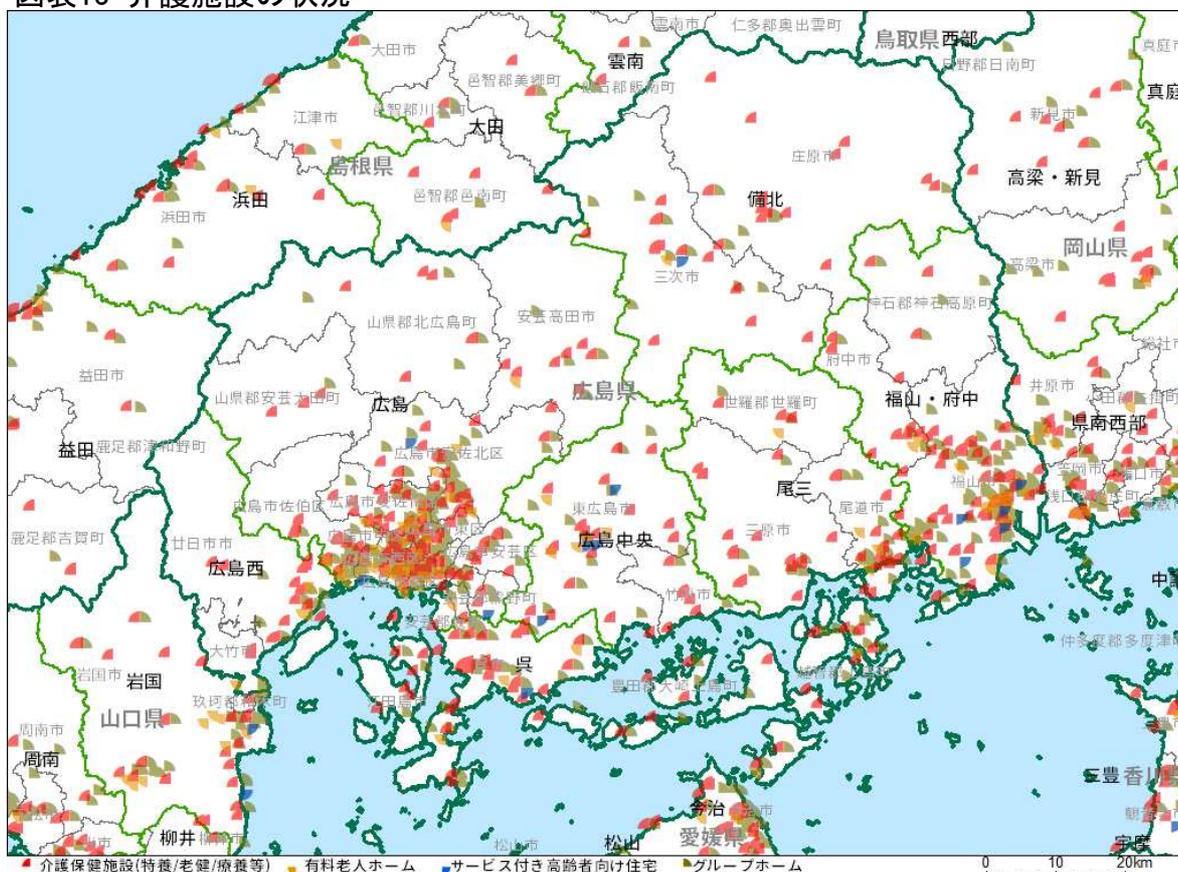
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
広島県	33,338	2.6%	89	59	3,307	2.8%	8.8	57

広島県

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



広島県

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値56と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値64と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値52と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値54とやや多い。

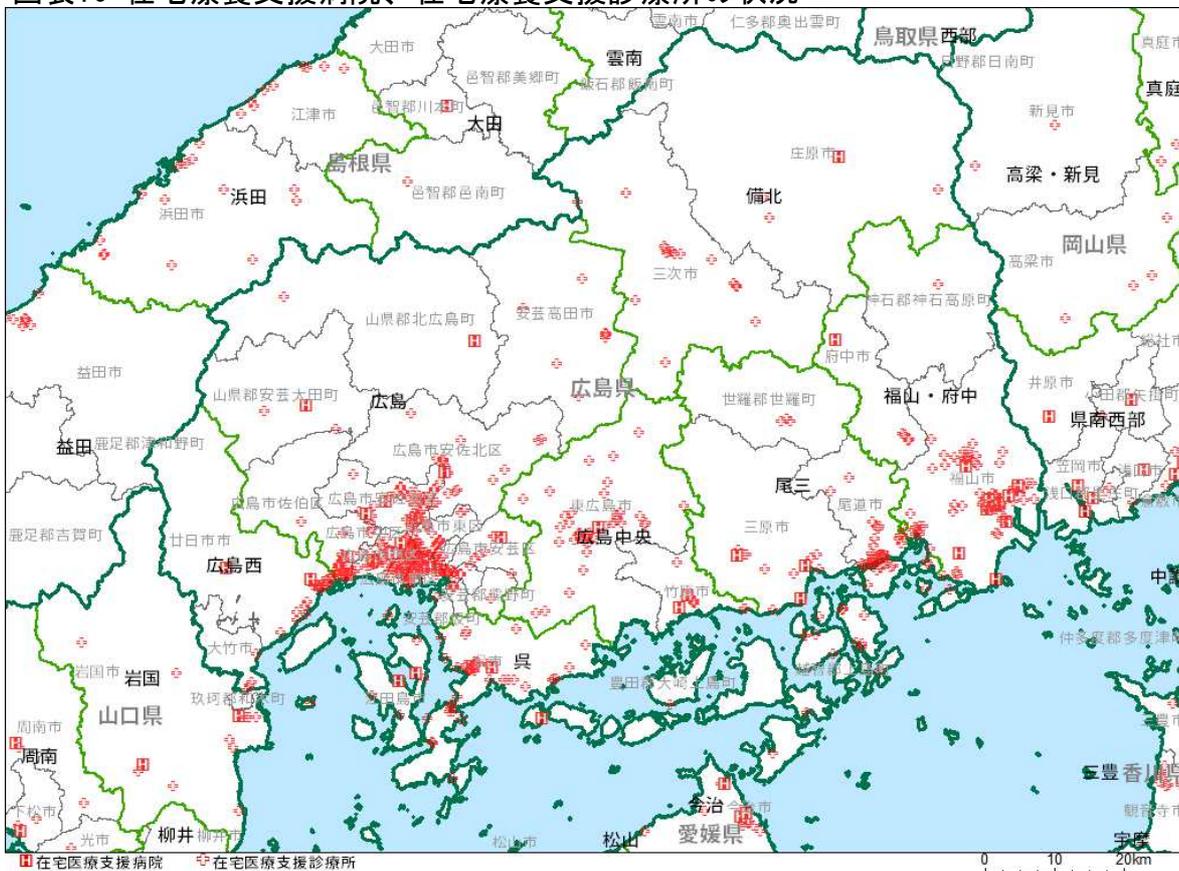
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
広島県	47	3.4%	0.1	56	560	3.9%	1.5	64

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
広島県	2,060	2.5%	72.4	52	2,265	3.1%	79.6	54

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



広島県

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値48と全国平均レベル、訪問看護が偏差値52と全国平均レベル、通所介護が偏差値48と全国平均レベルである。通所リハが偏差値59と多く、訪問入浴が偏差値49と全国平均レベル、短期入所が偏差値62と多く、居宅介護支援が偏差値47とやや少ない。訪問介護利用者数は偏差値50と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値49と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値54と全国平均レベルをやや上回る。

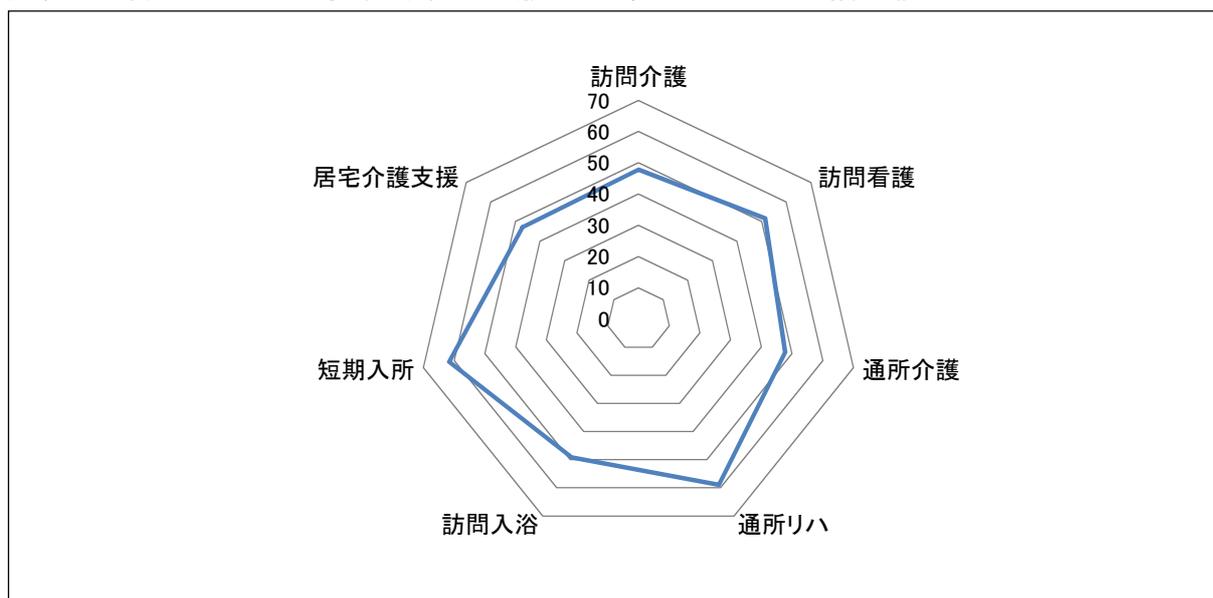
図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
広島県	713	2.1%	1.9	48	266	2.4%	0.7	52	958	2.1%	2.5	48
二次医療圏	通所リハ	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
広島県	245	3.2%	0.7	59	43	2.2%	0.1	49	353	3.4%	0.9	62
二次医療圏	居宅介護支援	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差								
全国	40,664		2.5	(0.6)								
広島県	875	2.2%	2.3	47								

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
広島県	27,919	2.3%	74.2	50	4,857	2.2%	12.9	49	1,364	2.6%	3.6	54

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



広島

■ 人口動態と要介護者の現状

広島は、人口1,365,134人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は335,692人、高齢化率(65歳以上人口割合)は25%とやや低い。

要介護数(認定者)は45,557人、要介護認定率は14%と全国平均レベルである。うち要介護3以上は20,902人、要介護者数に占める割合は46%と低い。

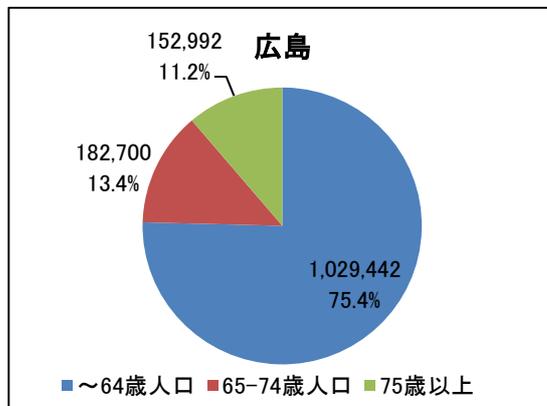
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
広島	1,365,134	335,692	152,992	25%	46	189,464	37%	35%

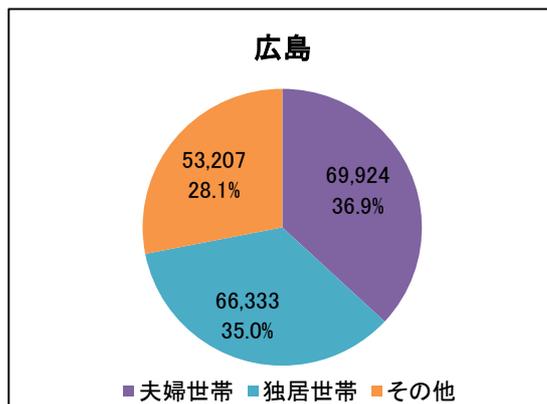
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
広島	45,557	14%	51	20,902	46%	43

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



広島

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、広島の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2045年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が149,932(103,759+46,173)人であるが、ピーク時の2045年には241,802人まで増加すると推計され、2015年比61%増加する。

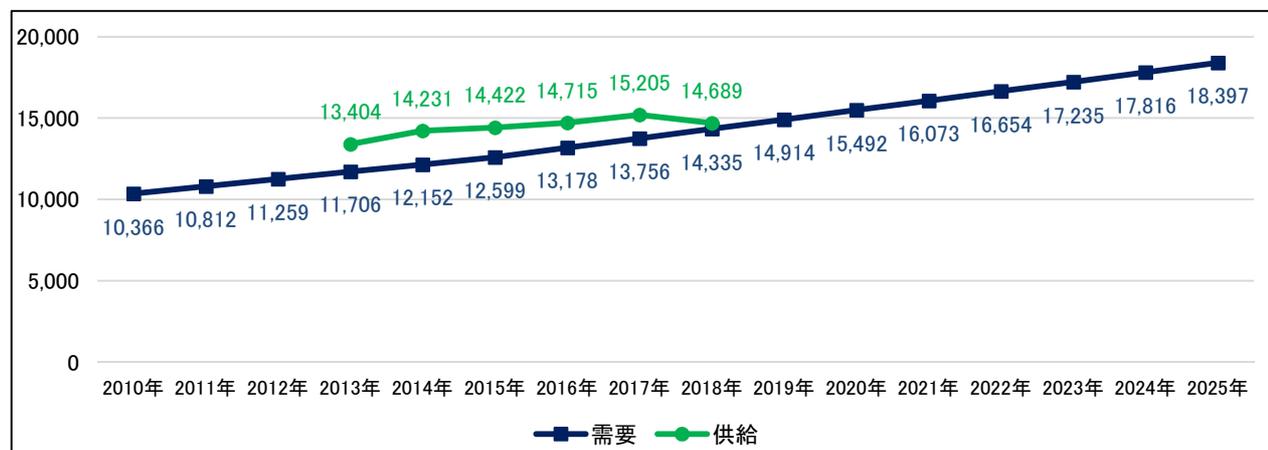
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、広島の施設需要のピークは2040年の24,845人であり、2015年の12,599人と比べ、97%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、広島の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要12,152人、供給14,231人と「供給>需要(+17%)」である。2018年は需要14,335人、供給14,689人と「供給>需要(+2%)」である。広島の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の余裕のある状況から、2018年の需要と供給が拮抗する状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



広島

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15,795人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,844床(偏差値52)、高齢者住宅等が5,951床(偏差値57)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム54、軽費ホーム48、グループホーム61、サ高住(特定施設)45である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値61と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値58と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
広島	15,795	44.1%	103	58	9,844	40.3%	64	52	5,951	52.2%	39	57

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
広島	3,262	35.8%	21	48	5,212	41.1%	34	49	1,370	52.7%	9.0	63

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
広島	2,894	65.7%	18.9	54	140	27.1%	0.9	48	2,849	50.1%	18.6	61

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

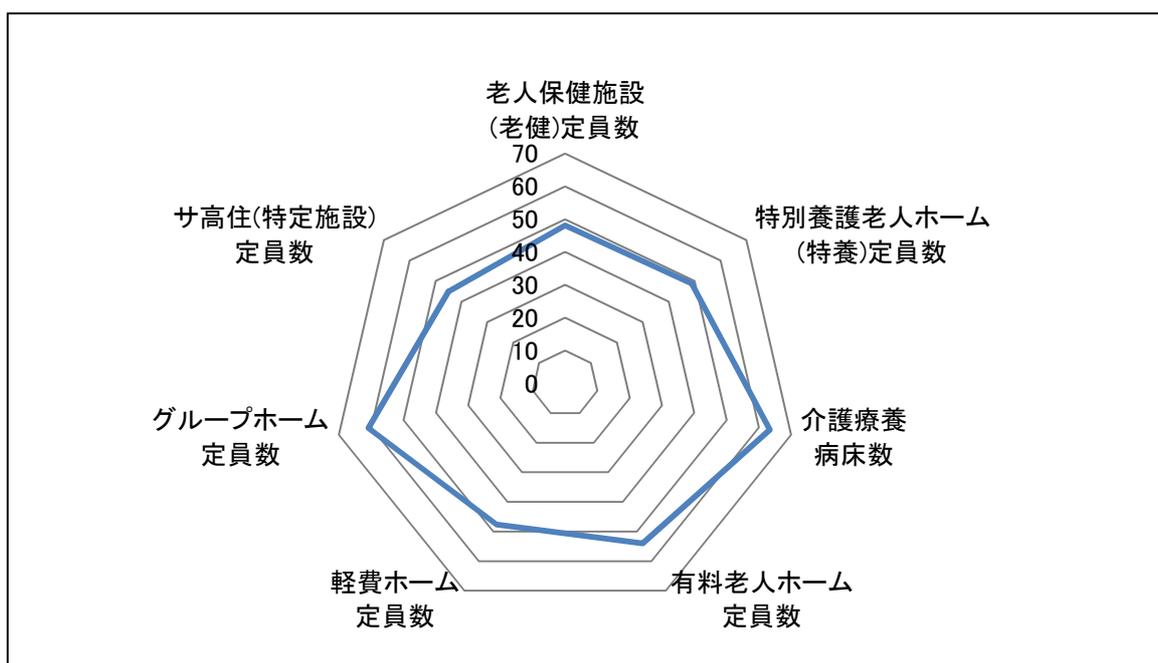
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
広島	68	8.6%	0.4	45	209,785		12.9	(6.8)
					3,136	49.7%	20.5	61

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

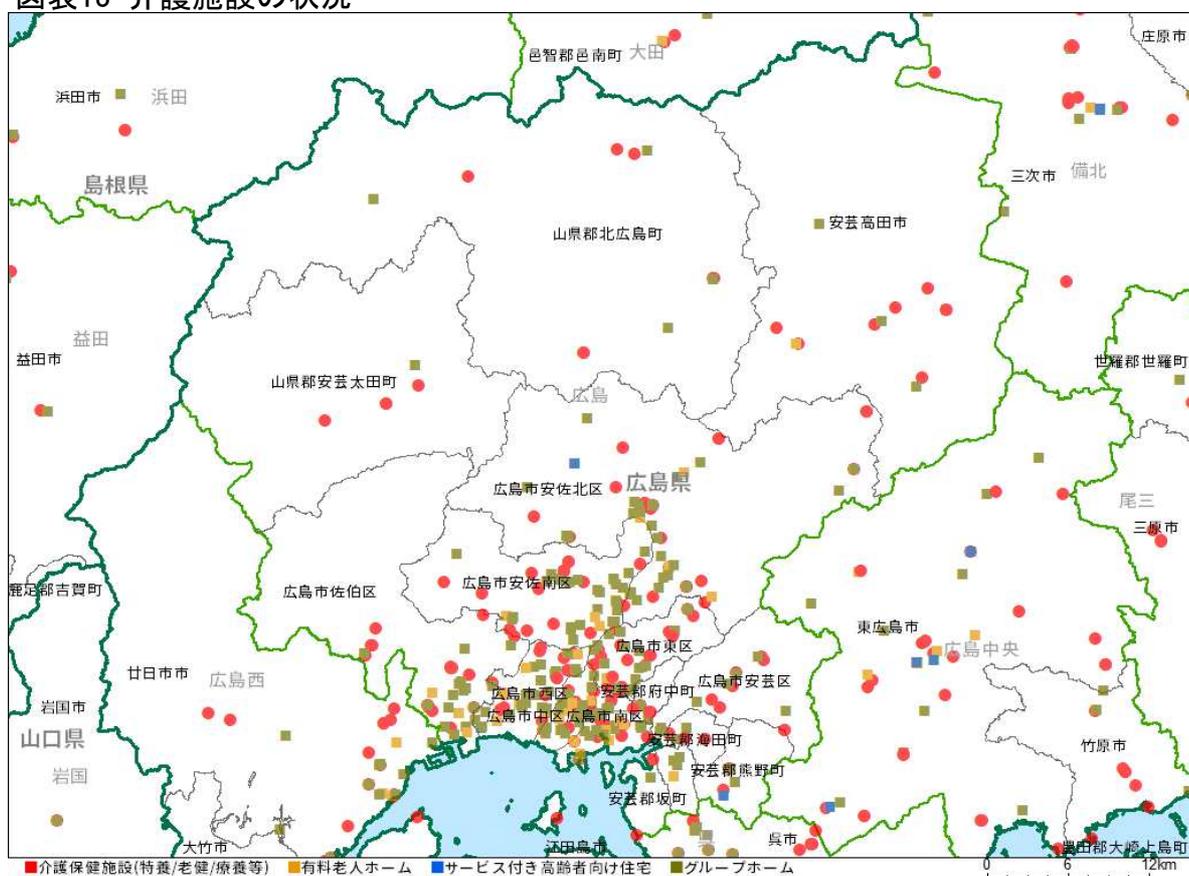
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
広島	13,997	42.0%	91	61	1,362	41.2%	8.9	58

広島

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



広島

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。在宅療養支援診療所数は偏差値70と非常に多い。

人口当たり回復期病床は偏差値51と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値52と全国平均レベルである。

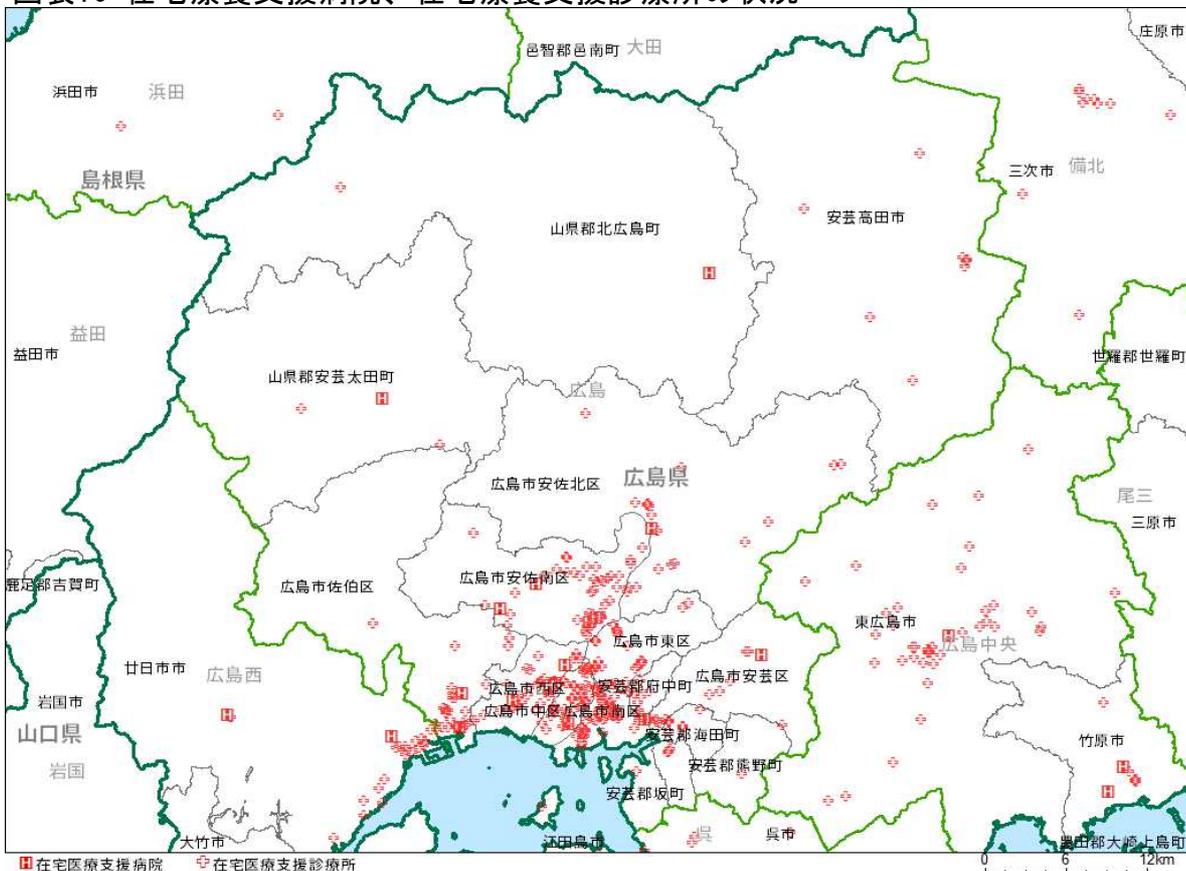
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
広島	18	38.3%	0.1	55	268	47.9%	1.8	70

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
広島	914	44.4%	67.0	51	917	40.5%	67.2	52

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



広島

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値54とやや多く、訪問看護が偏差値60と多く、通所介護が偏差値51と全国平均レベルである。通所リハが偏差値59と多く、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値62と多く、居宅介護支援が偏差値51と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値59と多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値57と全国平均レベルを上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値67と全国平均レベルを大きく上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
広島	364	51.1%	2.4	54	135	50.8%	0.9	60	432	45.1%	2.8	51

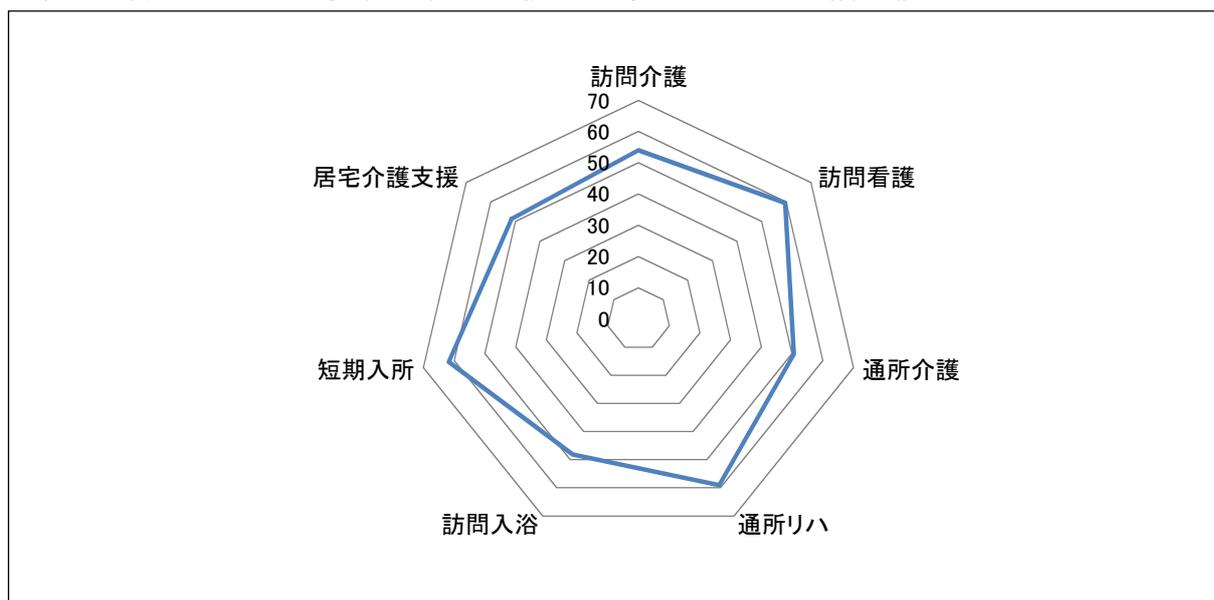
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
広島	100	40.8%	0.7	59	16	37.2%	0.1	48	144	40.8%	0.9	62

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
広島	394	45.0%	2.6	51

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
広島	14,895	53.4%	97.4	59	2,641	54.4%	17.3	57	763	55.9%	5.0	67

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



広島西

■ 人口動態と要介護者の現状

広島西は、人口142,771人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は41,372人、高齢化率(65歳以上人口割合)は29%とやや高い。

要介護数(認定者)は5,172人、要介護認定率は13%と低い。うち要介護3以上は2,238人、要介護者数に占める割合は43%と低い。

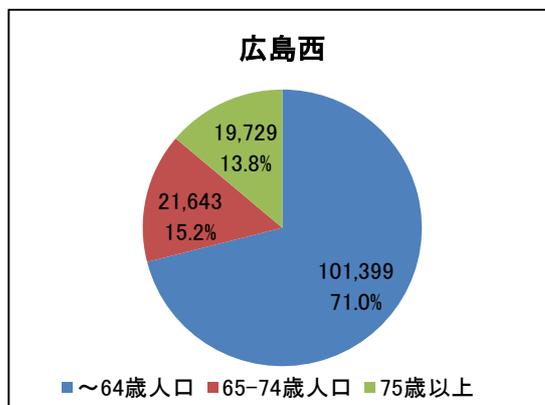
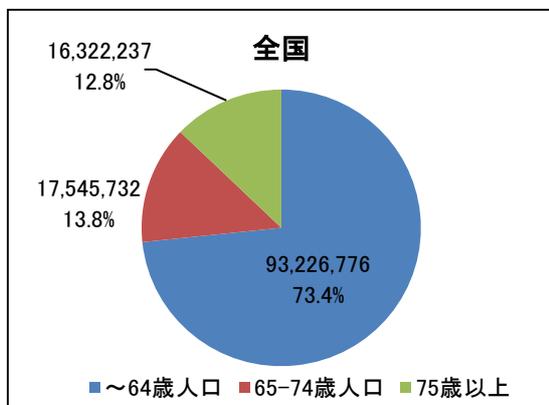
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
広島西	142,771	41,372	19,729	29%	55	22,451	40%	30%

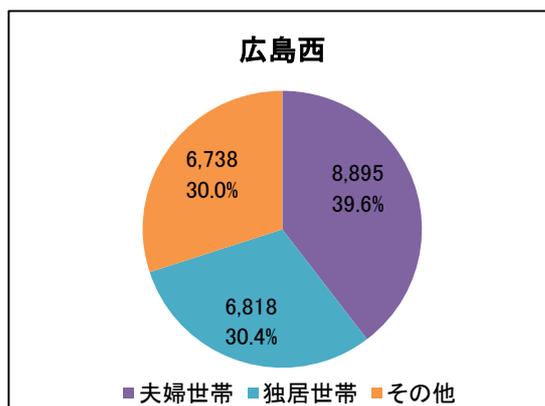
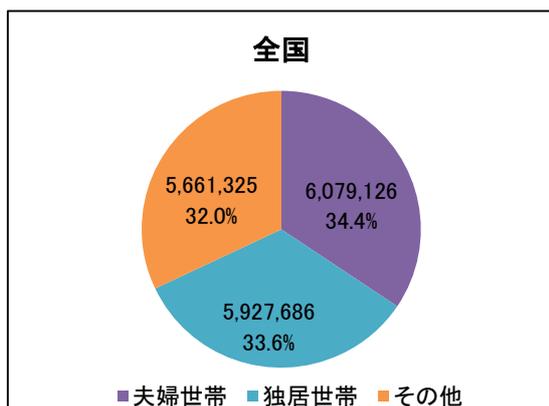
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
広島西	5,172	13%	45	2,238	43%	35

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



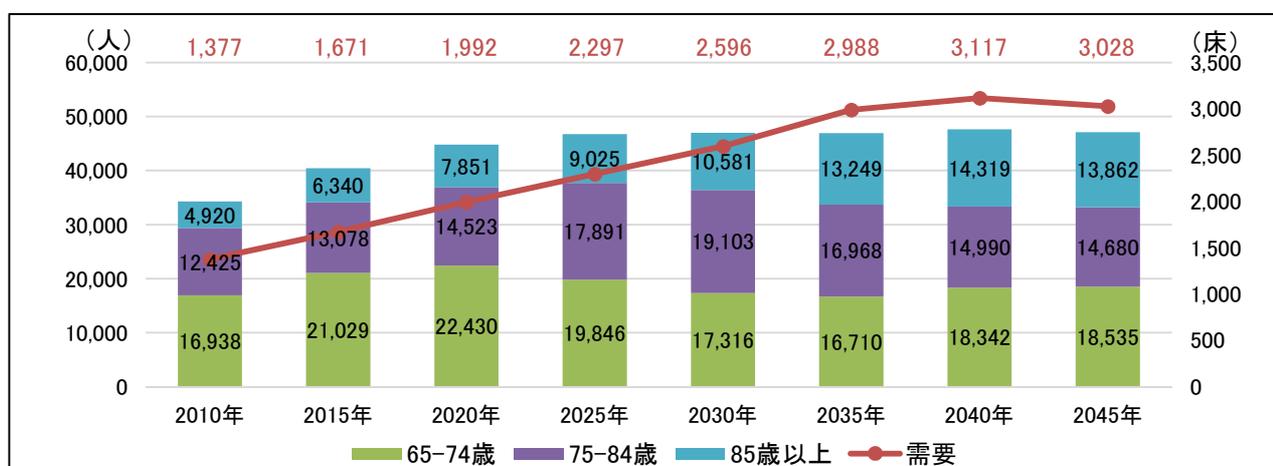
広島西

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、広島西の65歳以上人口のピークは2040年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が19,418(13,078+6,340)人であるが、ピーク時の2035年には30,217人まで増加すると推計され、2015年比56%増加する。

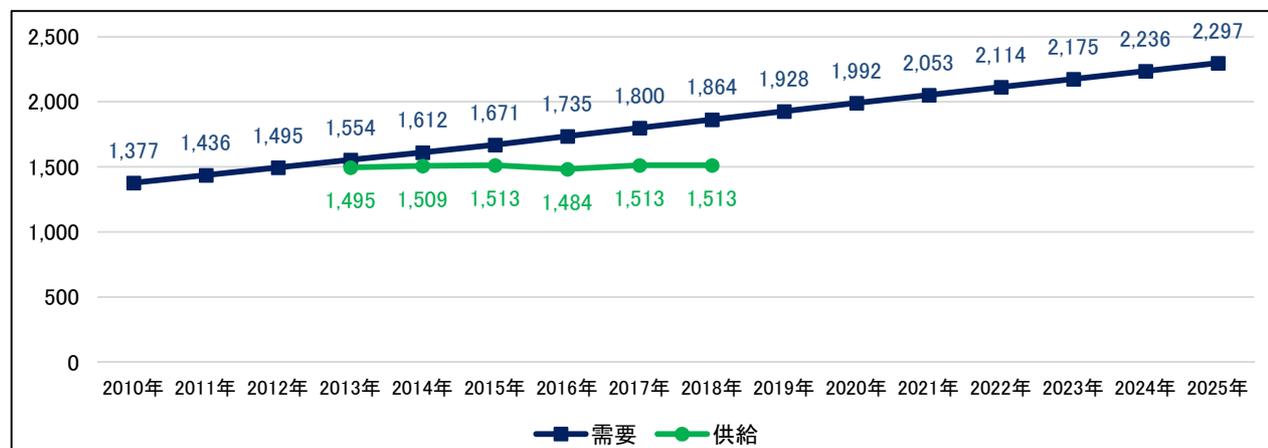
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、広島西の施設需要のピークは2040年の3,117人であり、2015年の1,671人と比べ、87%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、広島西の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,612人、供給1,509人と「供給<需要(-6%)」である。2018年は需要1,864人、供給1,513人と「供給<需要(-19%)」である。広島西の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の不足ぎみの状況から、2018年のかなり不足の状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



広島西

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,678人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,245床(偏差値51)、高齢者住宅等が433床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値46と全国平均レベルをやや下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値59と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
広島西	1,678	4.7%	85	46	1,245	5.1%	63	51	433	3.8%	22	44

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
広島西	476	5.2%	24	53	551	4.3%	28	43	218	8.4%	11.0	69

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
広島西	217	4.9%	11.0	47	0	0.0%	0	43	216	3.8%	10.9	48

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

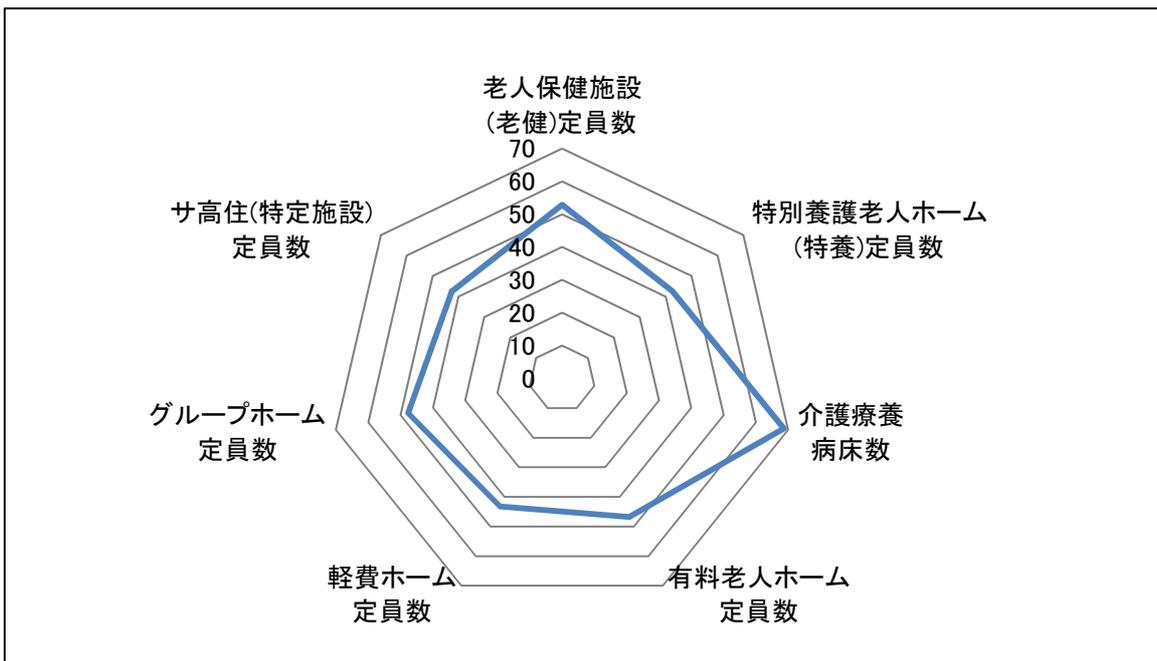
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
広島西	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					391	6.2%	19.8	60

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

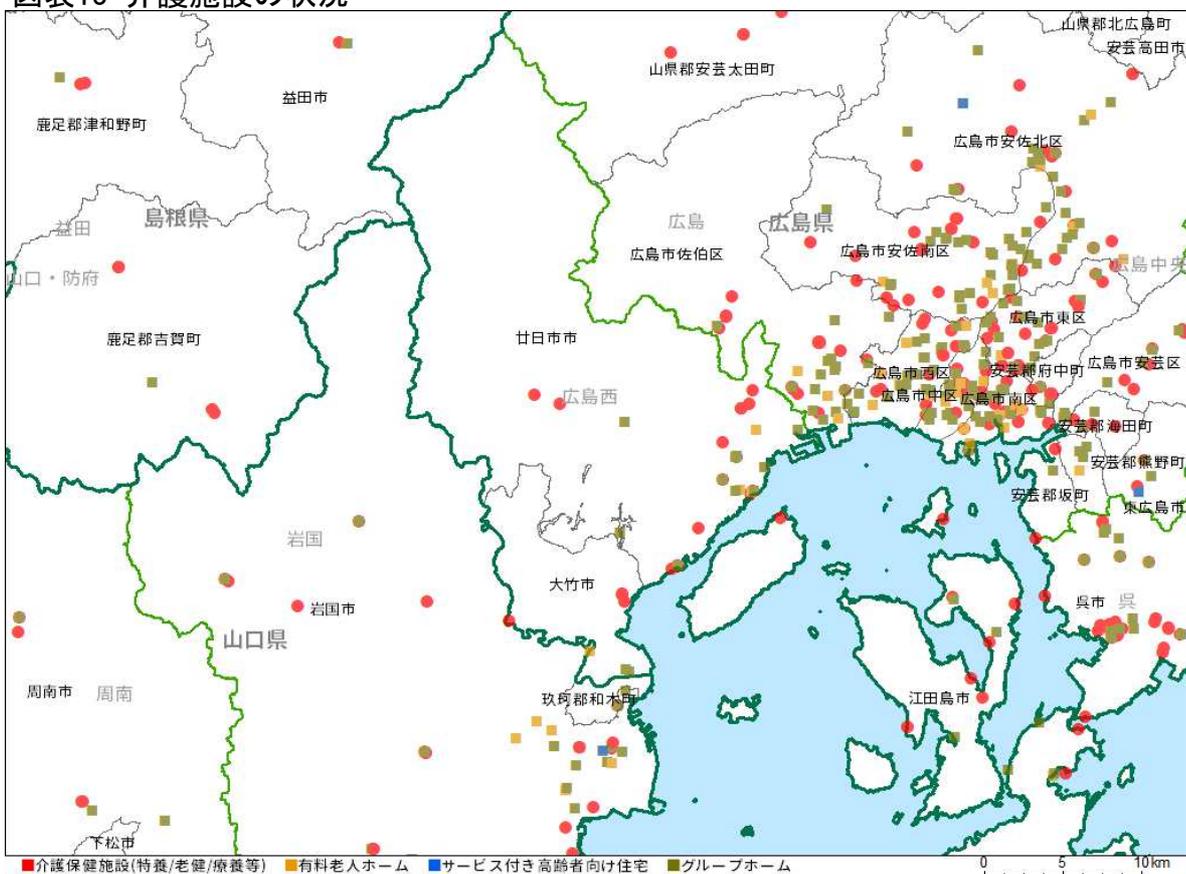
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
広島西	1,472	4.4%	75	46	179	5.4%	9.1	59

広島西

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



広島西

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値61と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値63と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値47とやや少ない。

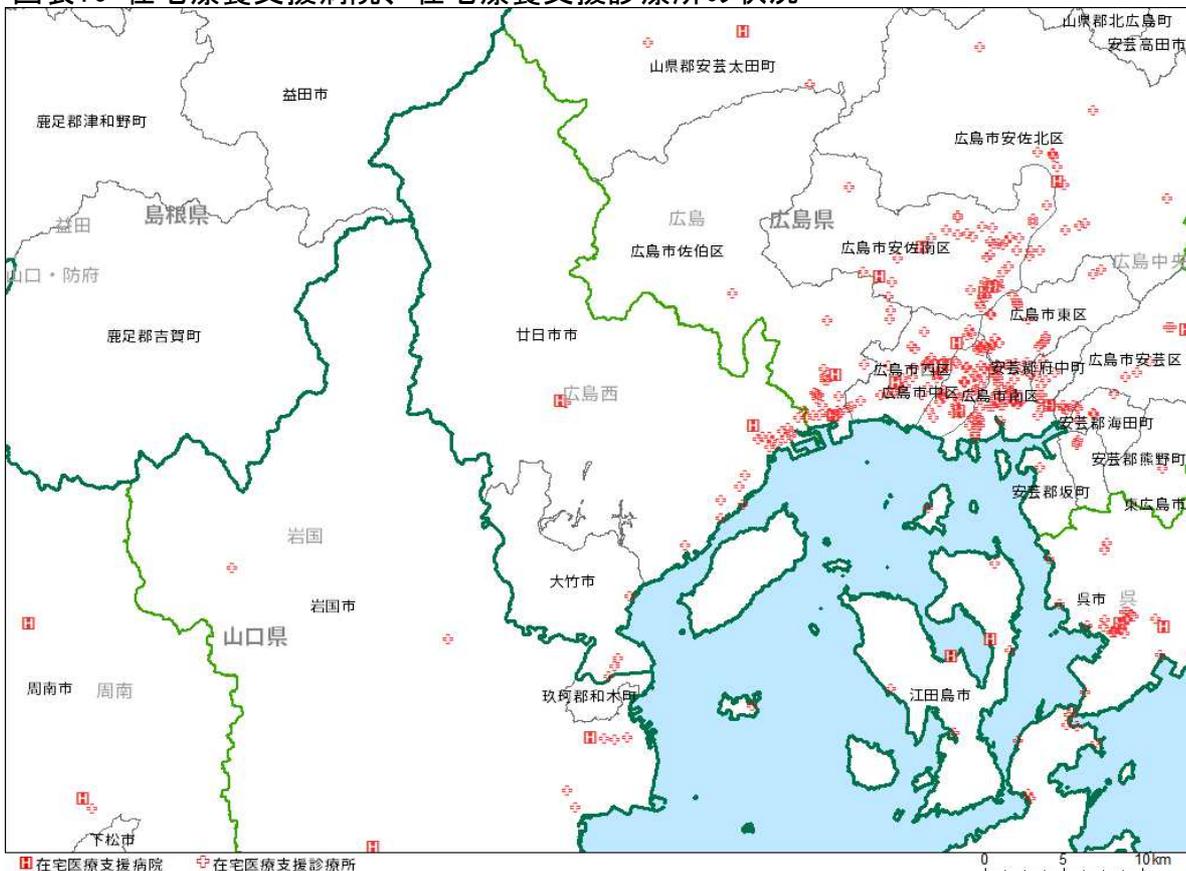
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
広島西	2	4.3%	0.1	52	27	4.8%	1.4	61

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
広島西	180	8.7%	126.1	63	58	2.6%	40.6	47

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



広島西

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値44と少なく、訪問看護が偏差値54とやや多く、通所介護が偏差値47とやや少ない。通所リハが偏差値52と全国平均レベル、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値55とやや多く、居宅介護支援が偏差値46とやや少ない。訪問介護利用者数は偏差値53とやや多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値57と全国平均レベルを上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値49と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
広島西	31	4.3%	1.6	44	15	5.6%	0.8	54	48	5.0%	2.4	47

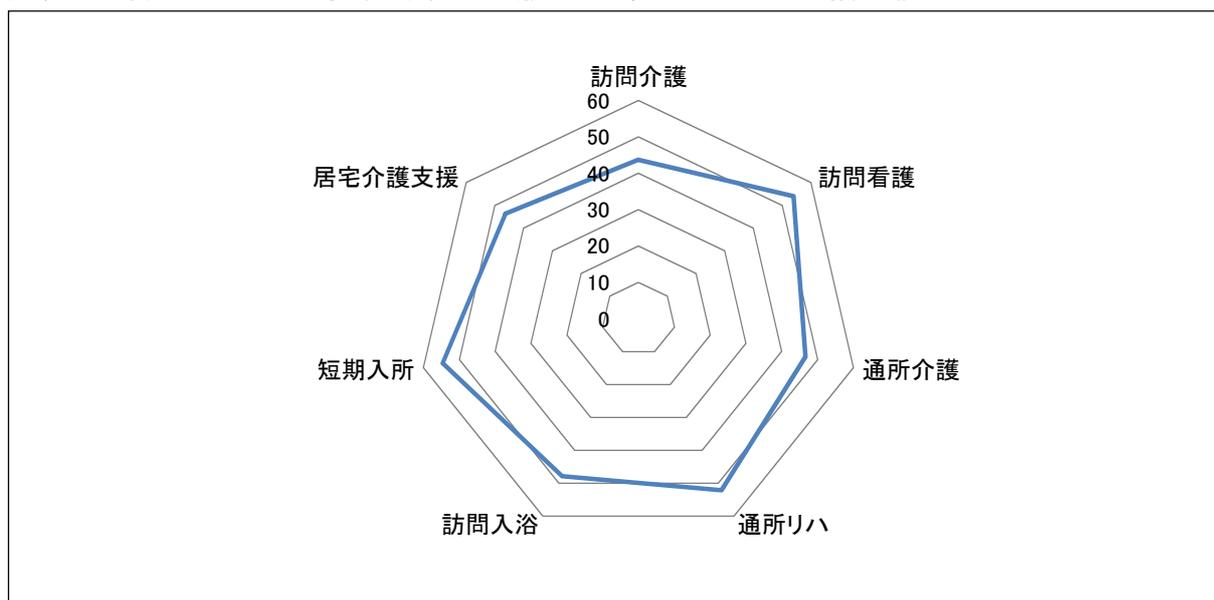
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
広島西	10	4.1%	0.5	52	2	4.7%	0.1	48	15	4.2%	0.8	55

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
広島西	45	5.1%	2.3	46

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
広島西	1,628	5.8%	82.5	53	350	7.2%	17.8	57	60	4.4%	3.0	49

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



県

■ 人口動態と要介護者の現状

県は、人口252,891人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は86,810人、高齢化率(65歳以上人口割合)は34%と非常に高い。

要介護数(認定者)は10,496人、要介護認定率は12%と低い。うち要介護3以上は5,020人、要介護者に占める割合は48%と全国平均レベルである。

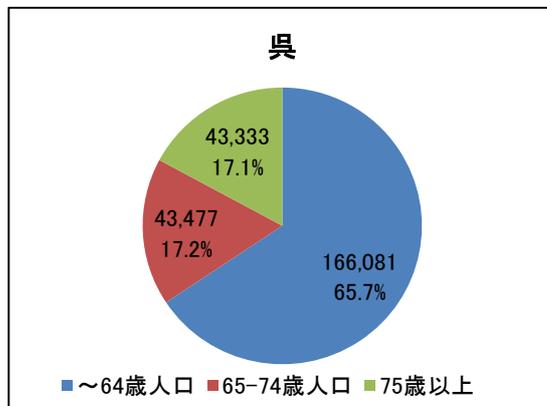
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
県	252,891	86,810	43,333	34%	65	50,014	36%	38%

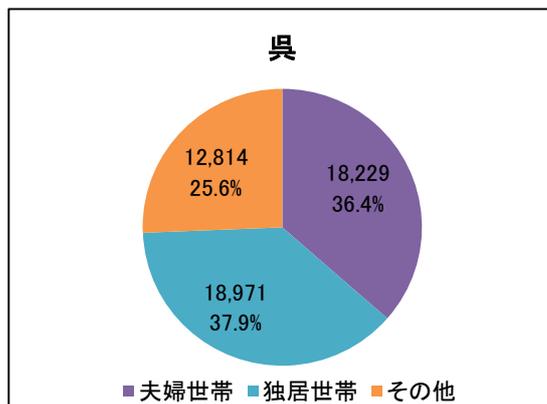
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
県	10,496	12%	42	5,020	48%	49

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



呉

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、呉の65歳以上人口のピークは2015年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2035年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が42,942(29,313+13,629)人であるが、ピーク時の2025年には50,608人まで増加すると推計され、2015年比18%増加する。

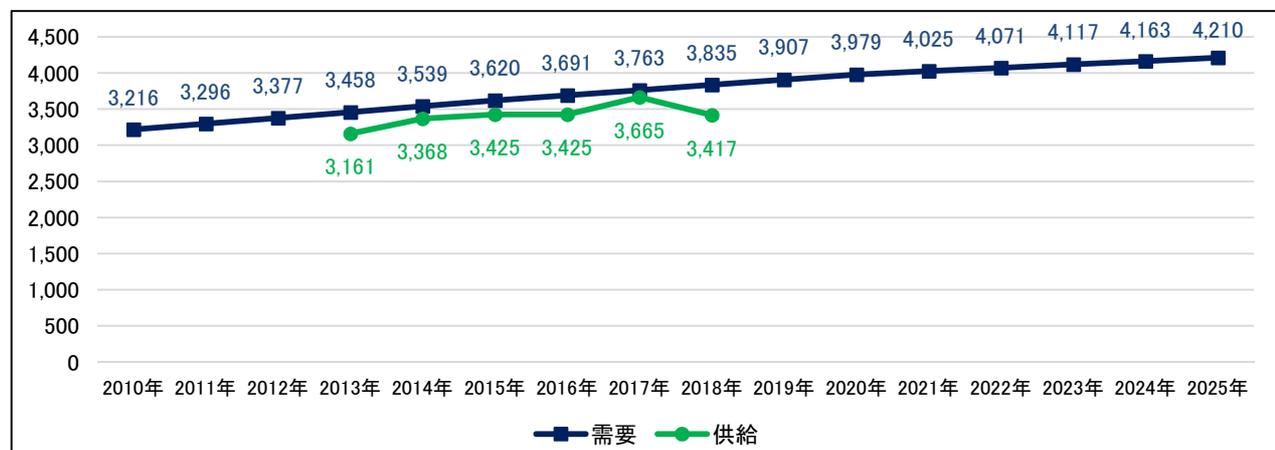
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、呉の施設需要のピークは2035年の4,543人であり、2015年の3,620人と比べ、26%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、呉の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要3,539人、供給3,368人と「供給<需要(-5%)」である。2018年は需要3,835人、供給3,417人と「供給<需要(-11%)」である。呉の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



呉

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,562人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,918床(偏差値55)、高齢者住宅等が644床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム38、軽費ホーム50、グループホーム43、サ高住(特定施設)59である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値45と全国平均レベルをやや下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値56と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
呉	3,562	9.9%	82	44	2,918	12.0%	67	55	644	5.6%	15	38

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
呉	1,322	14.5%	31	64	1,377	10.9%	32	47	219	8.4%	5.1	54

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
呉	82	1.9%	1.9	38	62	12.0%	1.4	50	368	6.5%	8.5	43

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

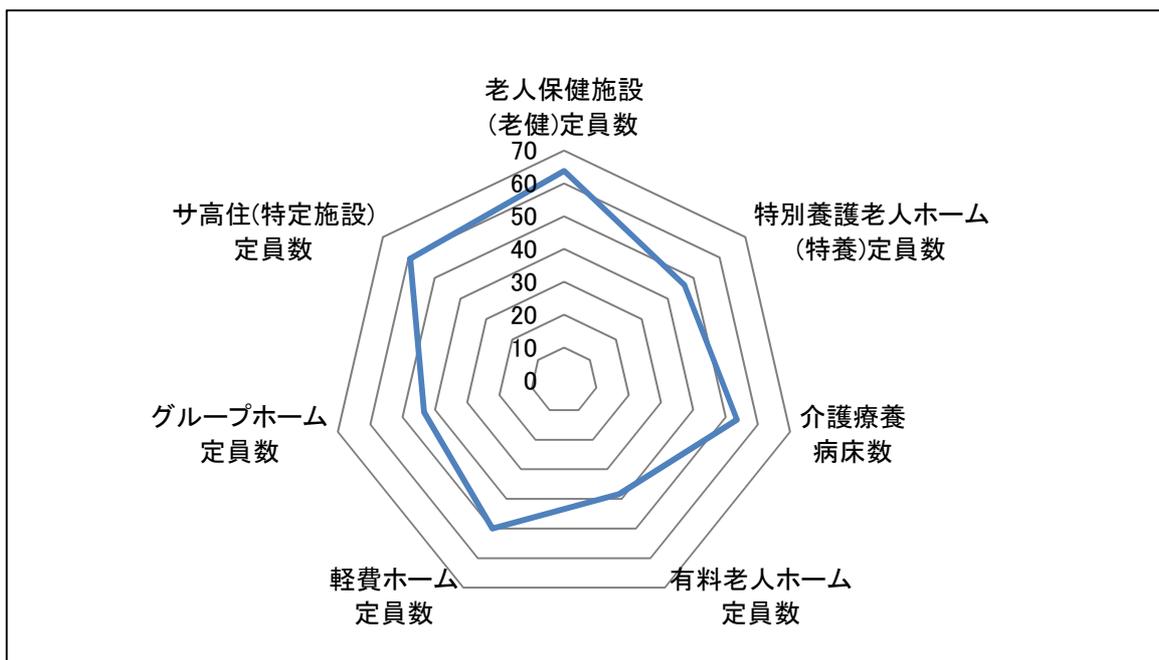
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
呉	132	16.7%	3.0	59	209,785		12.9	(6.8)
					309	4.9%	7.1	42

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

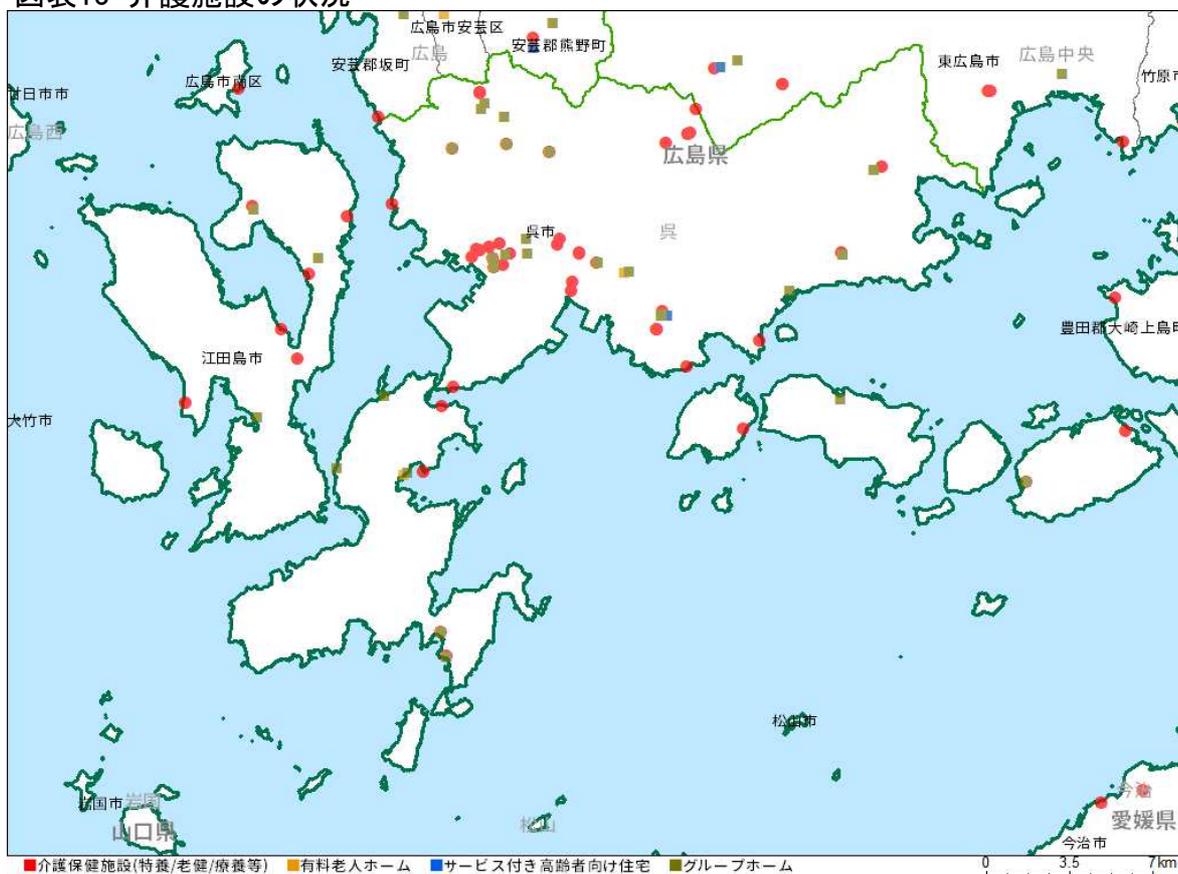
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
呉	3,193	9.6%	74	45	367	11.1%	8.5	56

呉

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



呉

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値58と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値55とやや多い。

人口当たり回復期病床は偏差値51と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値48と全国平均レベルである。

図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
呉	6	12.8%	0.1	58	47	8.4%	1.1	55

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
呉	173	8.4%	68.4	51	117	5.2%	46.3	48

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



呉

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値46とやや少なく、訪問看護が偏差値43と少なく、通所介護が偏差値37と少ない。通所リハが偏差値55とやや多く、訪問入浴が偏差値52と全国平均レベル、短期入所が偏差値56と多く、居宅介護支援が偏差値38と少ない。訪問介護利用者数は偏差値49と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値46と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値42と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
呉	77	10.8%	1.8	46	23	8.6%	0.5	43	63	6.6%	1.5	37

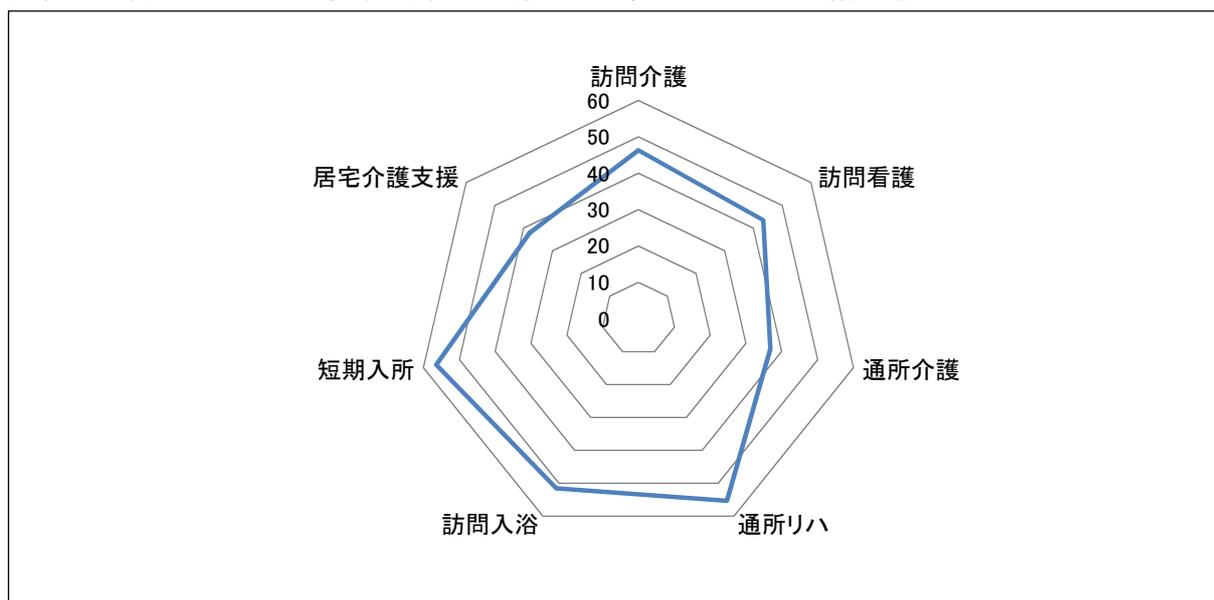
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
呉	25	10.2%	0.6	55	6	14.0%	0.1	52	35	9.9%	0.8	56

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
呉	78	8.9%	1.8	38

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
呉	3,123	11.2%	72.1	49	496	10.2%	11.5	46	100	7.3%	2.3	42

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



広島中央

■ 人口動態と要介護者の現状

広島中央は、人口227,325人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は56,539人、高齢化率(65歳以上人口割合)は25%とやや低い。

要介護数(認定者)は7,571人、要介護認定率は13%と全国平均レベルである。うち要介護3以上は3,478人、要介護者数に占める割合は46%と低い。

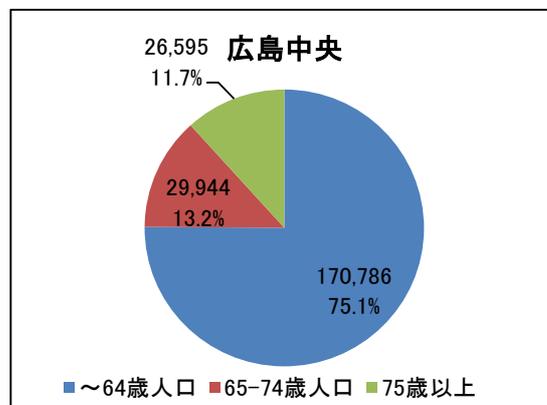
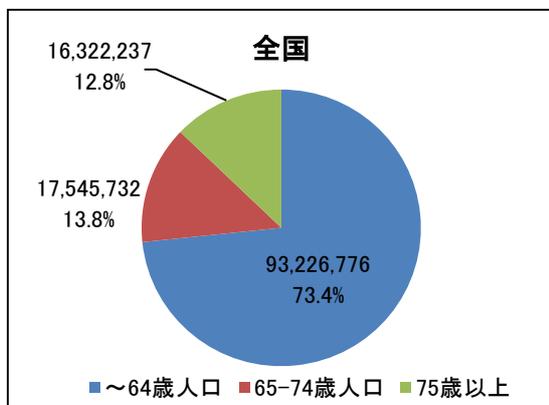
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
広島中央	227,325	56,539	26,595	25%	47	29,206	40%	32%

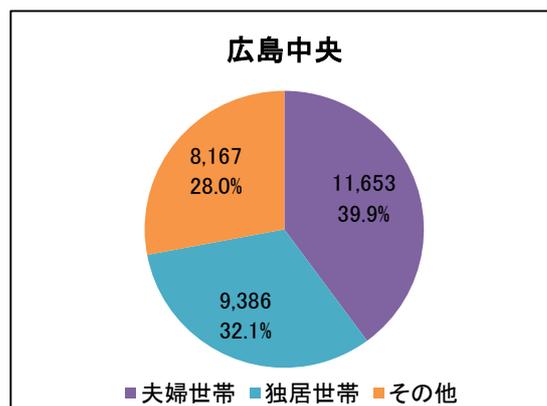
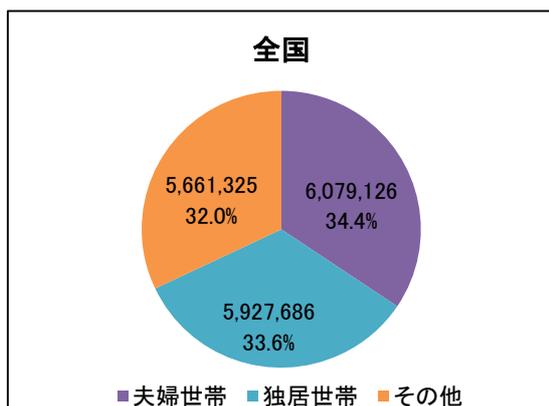
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
広島中央	7,571	13%	50	3,478	46%	43

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



広島中央

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、広島中央の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が26,296(17,502+8,794)人であるが、ピーク時の2030年には37,880人まで増加すると推計され、2015年比44%増加する。

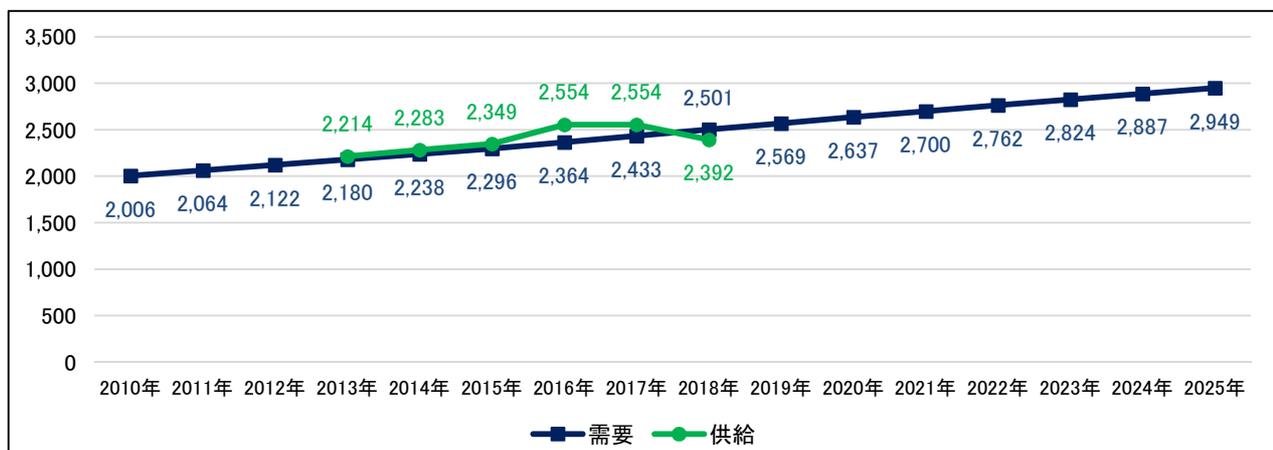
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、広島中央の施設需要のピークは2040年の3,829人であり、2015年の2,296人と比べ、67%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、広島中央の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要2,238人、供給2,283人と「供給>需要(+2%)」である。2018年は需要2,501人、供給2,392人と「供給<需要(-4%)」である。広島中央の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、需要と供給が拮抗する状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



広島中央

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,619人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,921床(偏差値59)、高齢者住宅等が698床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム45、軽費ホーム49、グループホーム43、サ高住(特定施設)85である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値65と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値66と全国平均レベルを大きく上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
広島中央	2,619	7.3%	98	55	1,921	7.9%	72	59	698	6.1%	26	47

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
広島中央	731	8.0%	27	59	1,023	8.1%	38	53	167	6.4%	6.3	57

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
広島中央	248	5.6%	9.3	45	30	5.8%	1.1	49	216	3.8%	8.1	43

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

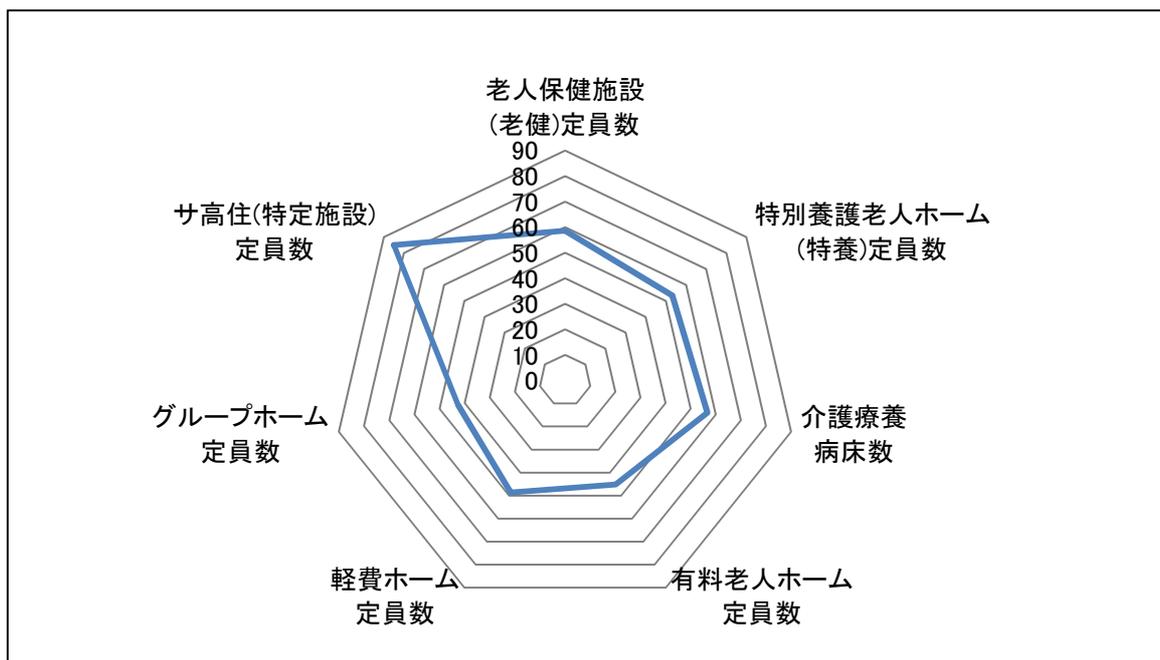
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
広島中央	204	25.8%	7.7	85	209,785		12.9	(6.8)
					210	3.3%	7.9	43

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

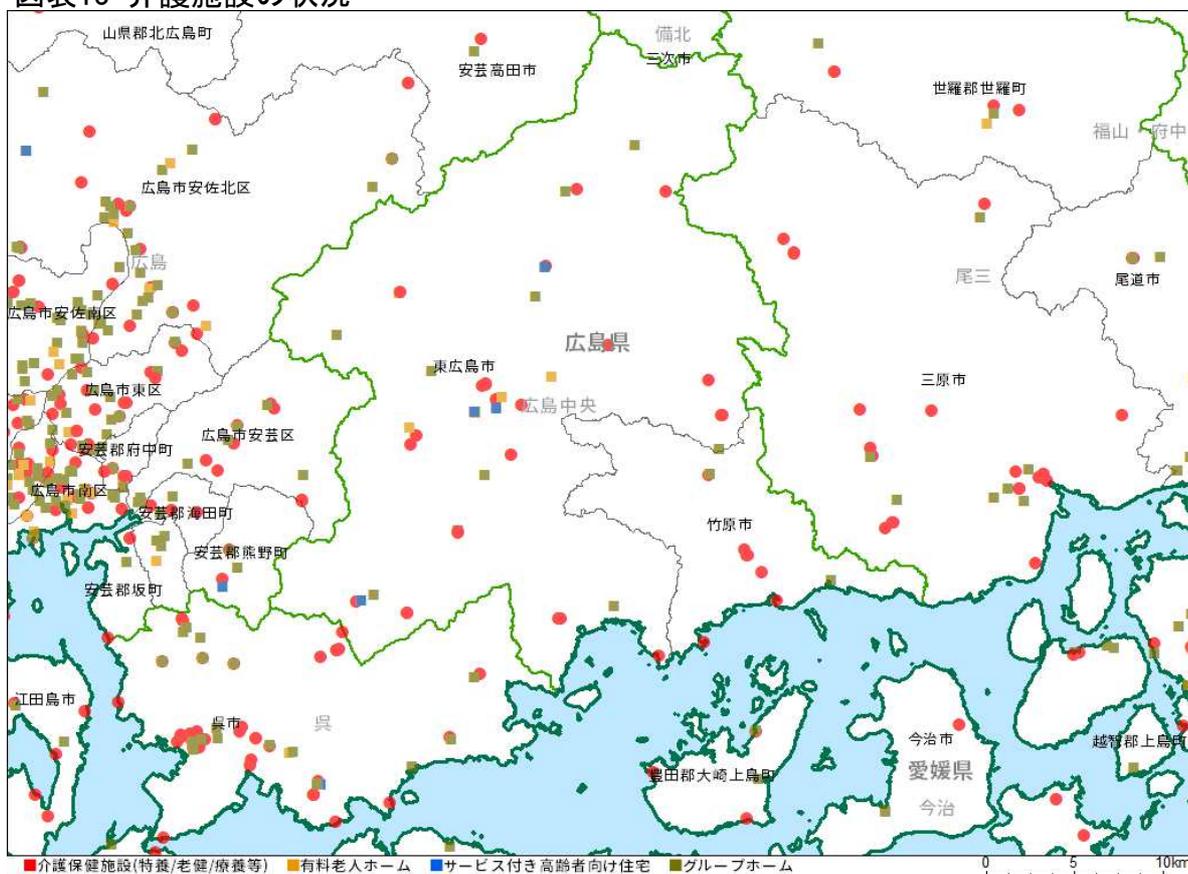
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
広島中央	2,552	7.7%	96	65	279	8.4%	10.5	66

広島中央

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



広島中央

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。在宅療養支援診療所数は偏差値72と非常に多い。

人口当たり回復期病床は偏差値44と少ない。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値53とやや多い。

図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
広島中央	3	6.4%	0.1	54	49	8.8%	1.8	72

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
広島中央	78	3.8%	34.3	44	166	7.3%	73.0	53

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



広島中央

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値44と少なく、訪問看護が偏差値57と多く、通所介護が偏差値47とやや少ない。通所リハが偏差値69と非常に多く、訪問入浴が偏差値45とやや少なく、短期入所が偏差値66と非常に多く、居宅介護支援が偏差値47とやや少ない。訪問介護利用者数は偏差値42と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値39と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値58と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
広島中央	43	6.0%	1.6	44	22	8.3%	0.8	57	65	6.8%	2.4	47

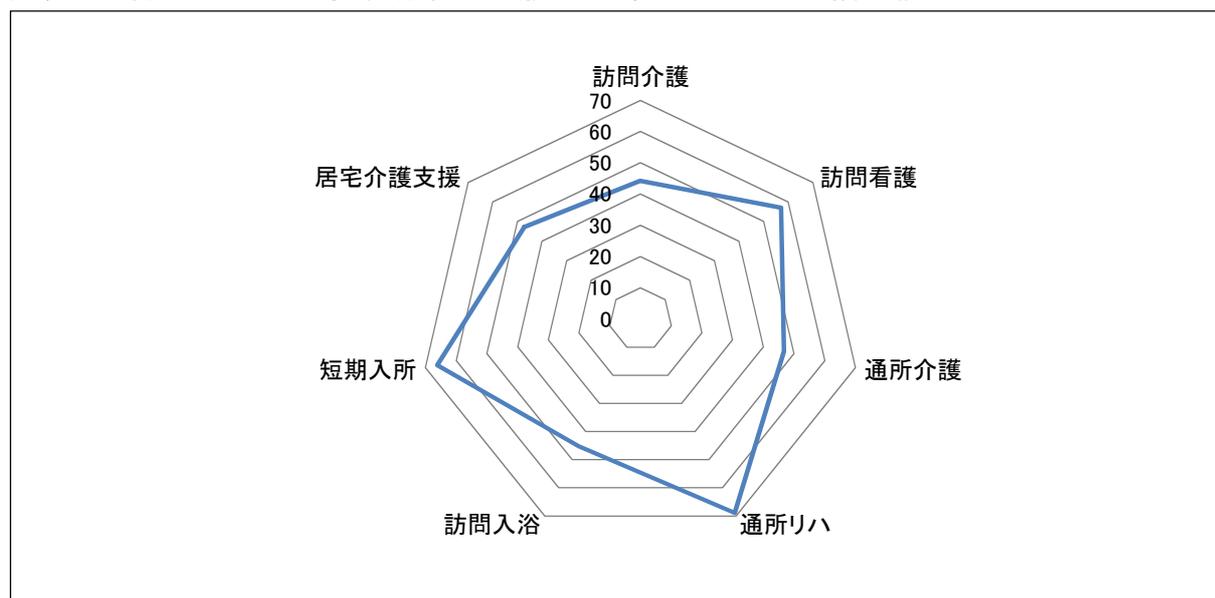
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
広島中央	23	9.4%	0.9	69	2	4.7%	0.1	45	28	7.9%	1.1	66

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
広島中央	62	7.1%	2.3	47

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
広島中央	1,438	5.2%	54.1	42	195	4.0%	7.3	39	106	7.8%	4.0	58

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



尾三

■ 人口動態と要介護者の現状

尾三は、人口251,157人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は85,574人、高齢化率(65歳以上人口割合)は34%と高い。

要介護数(認定者)は13,293人、要介護認定率は16%と高い。うち要介護3以上は6,593人、要介護者数に占める割合は50%とやや高い。

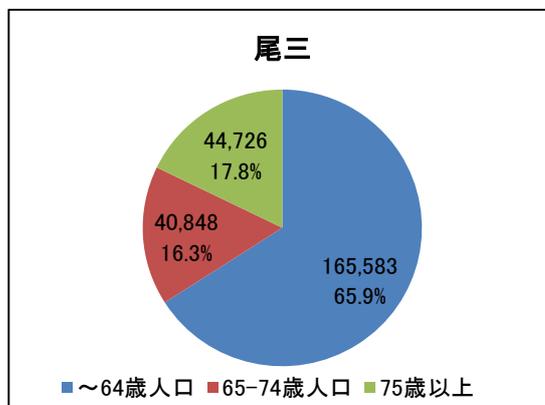
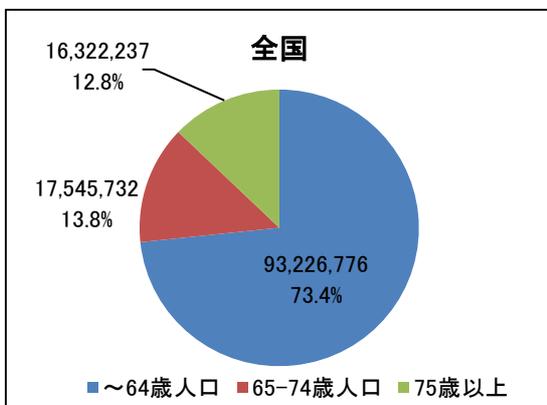
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
尾三	251,157	85,574	44,726	34%	65	44,377	38%	35%

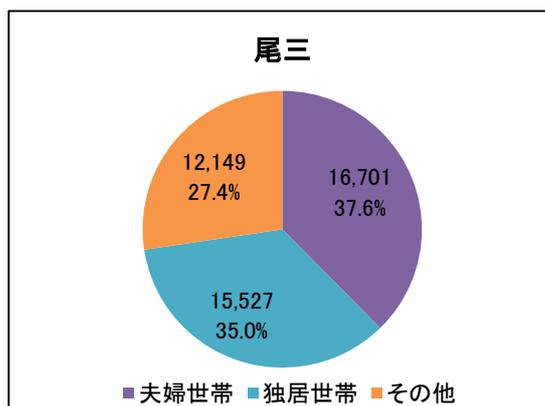
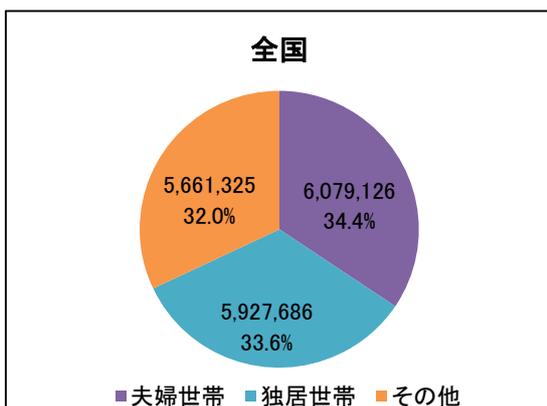
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
尾三	13,293	16%	62	6,593	50%	54

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



尾三

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、尾三の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が44,461(29,182+15,279)人であるが、ピーク時の2030年には53,033人まで増加すると推計され、2015年比19%増加する。

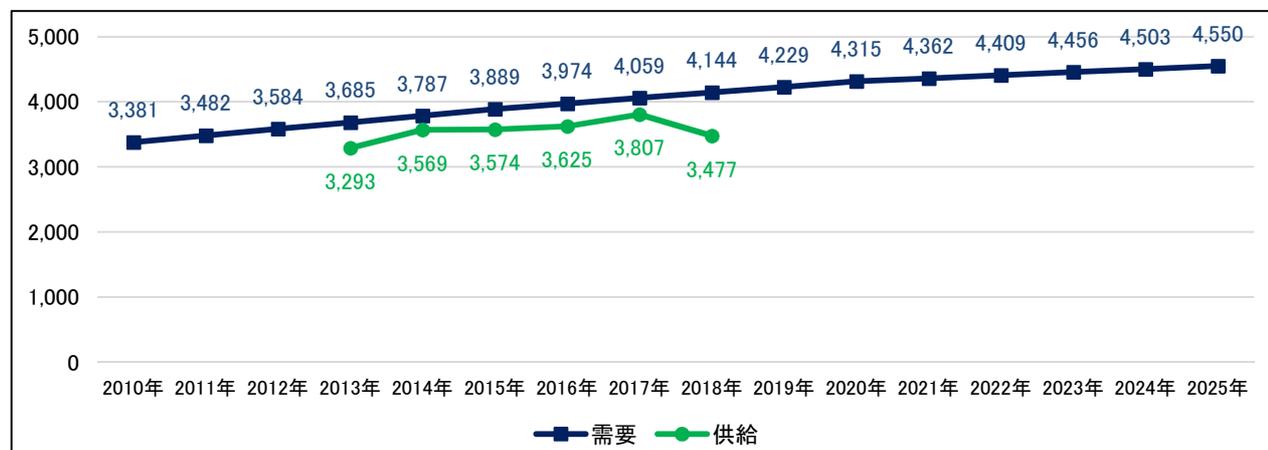
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、尾三の施設需要のピークは2035年の5,081人であり、2015年の3,889人と比べ、31%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、尾三の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要3,787人、供給3,569人と「供給<需要(-6%)」である。2018年は需要4,144人、供給3,477人と「供給<需要(-16%)」である。尾三の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の不足ぎみの状況から、2018年のかなり不足の状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



尾三

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,051人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,031床(偏差値55)、高齢者住宅等が1,020床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム43、軽費ホーム51、グループホーム48、サ高住(特定施設)58である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値51と全国平均レベル、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値61と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
尾三	4,051	11.3%	91	50	3,031	12.4%	68	55	1,020	8.9%	23	45

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
尾三	1,353	14.8%	30	63	1,379	10.9%	31	46	299	11.5%	6.7	58

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
尾三	325	7.4%	7.3	43	75	14.5%	1.7	51	495	8.7%	11.1	48

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

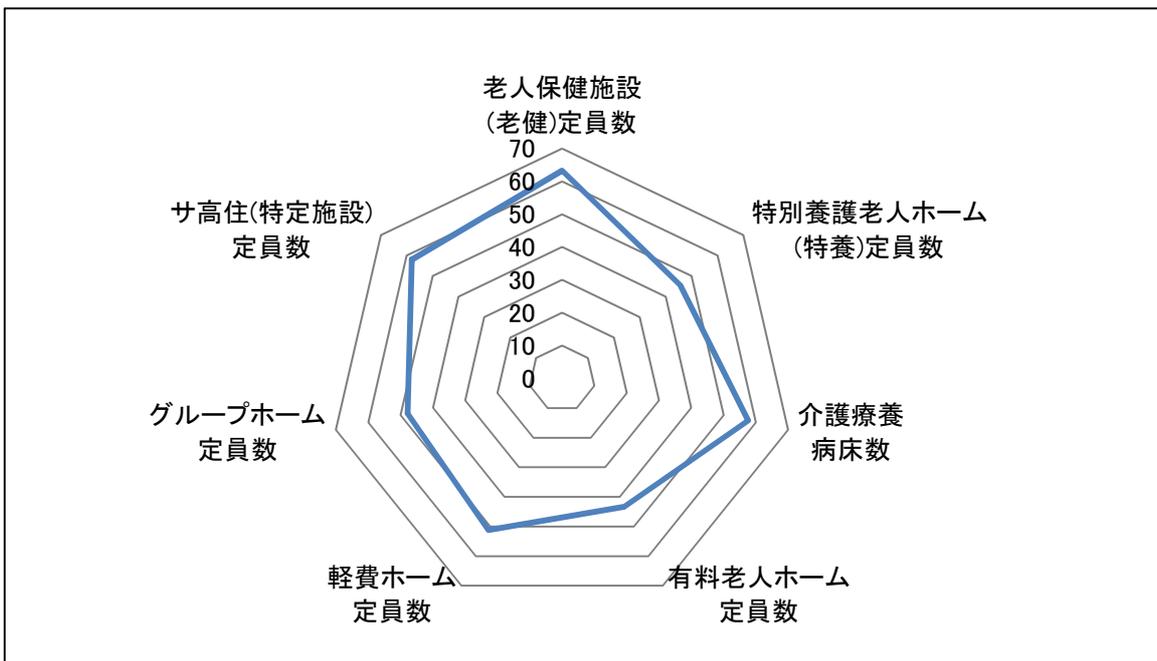
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
尾三	125	15.8%	2.8	58	209,785		12.9	(6.8)
					548	8.7%	12.3	49

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
尾三	3,584	10.7%	80	51	422	12.8%	9.4	61

尾三

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



尾三

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値62と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値53とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値66と非常に多い。

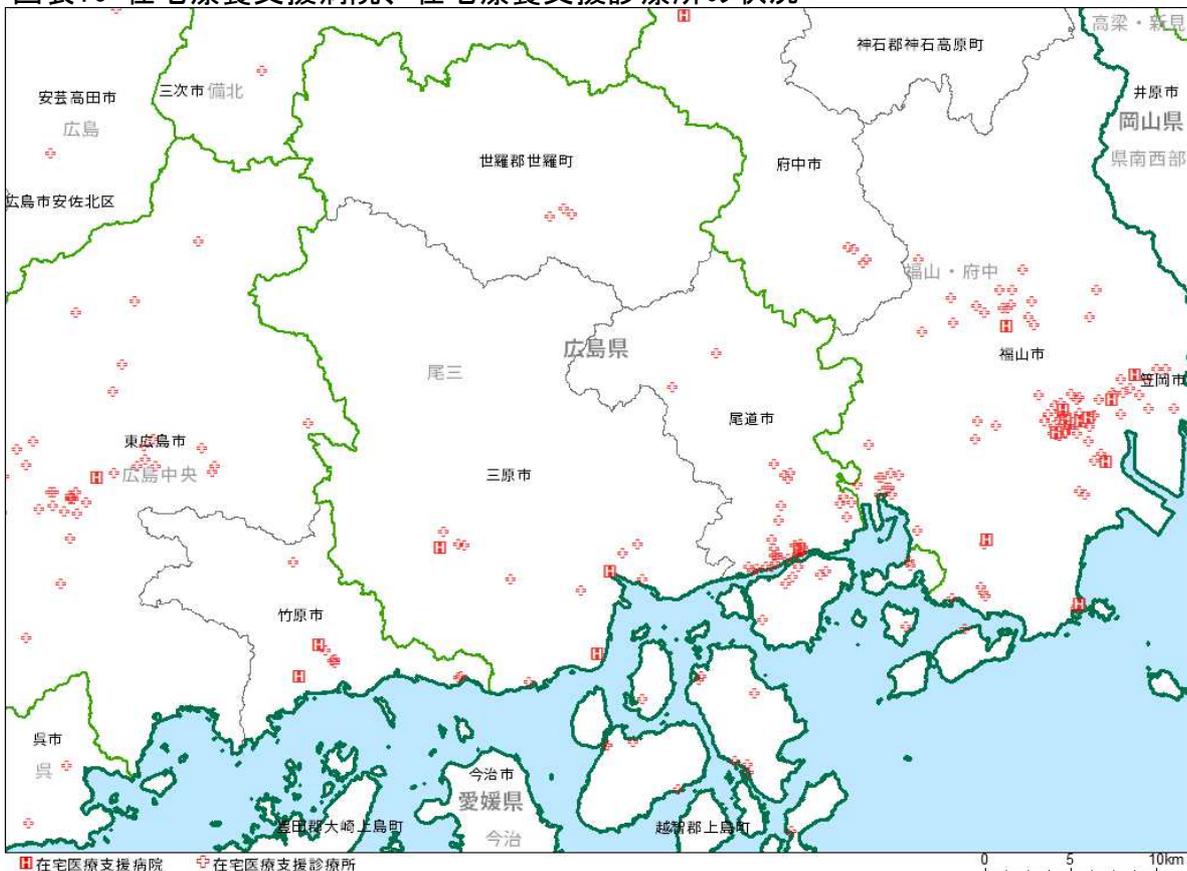
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
尾三	4	8.5%	0.1	51	63	11.3%	1.4	62

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
尾三	196	9.5%	78.0	53	377	16.6%	150.1	66

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



尾三

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値44と少なく、訪問看護が偏差値44と少なく、通所介護が偏差値44と少ない。通所リハが偏差値54とやや多く、訪問入浴が偏差値51と全国平均レベル、短期入所が偏差値51と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値41と少ない。訪問介護利用者数は偏差値42と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値42と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値44と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
尾三	72	10.1%	1.6	44	24	9.0%	0.5	44	99	10.3%	2.2	44

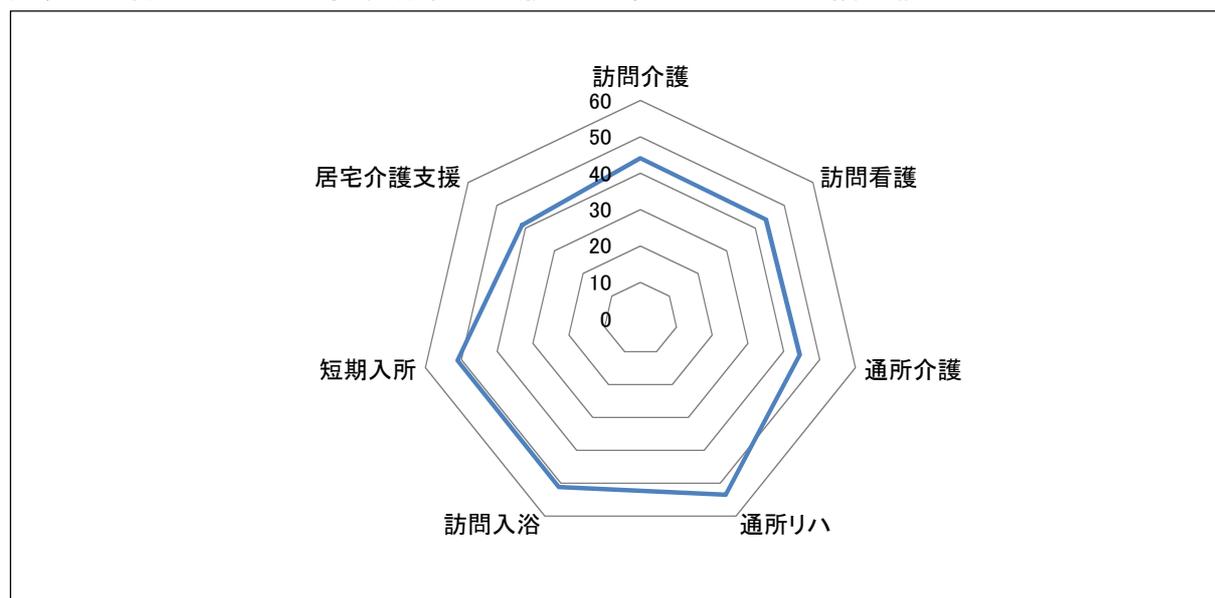
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
尾三	24	9.8%	0.5	54	6	14.0%	0.1	51	30	8.5%	0.7	51

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
尾三	89	10.2%	2.0	41

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
尾三	2,414	8.6%	54.0	42	403	8.3%	9.0	42	111	8.1%	2.5	44

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



福山・府中

■ 人口動態と要介護者の現状

福山・府中は、人口514,097人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は143,455人、高齢化率(65歳以上人口割合)は28%とやや高い。

要介護数(認定者)は18,524人、要介護認定率は13%とやや低い。うち要介護3以上は9,135人、要介護者数に占める割合は49%とやや高い。

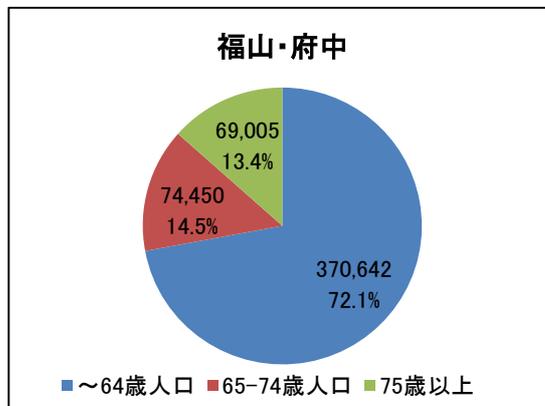
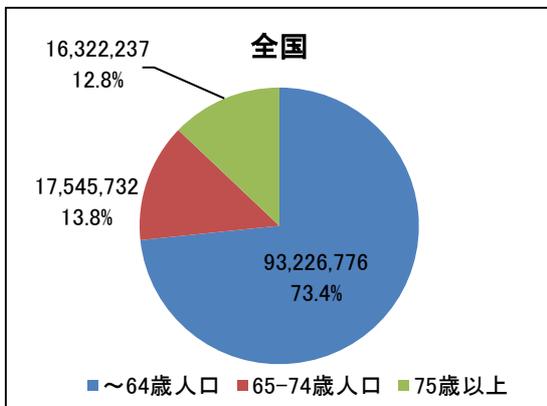
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
福山・府中	514,097	143,455	69,005	28%	52	69,086	37%	31%

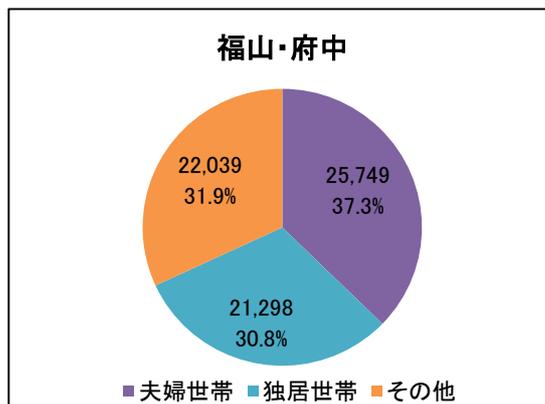
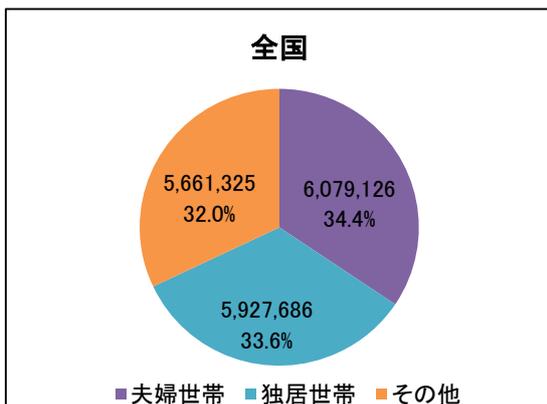
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
福山・府中	18,524	13%	47	9,135	49%	53

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



福山・府中

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、福山・府中の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が67,980(46,156+21,824)人であるが、ピーク時の2030年には95,917人まで増加すると推計され、2015年比41%増加する。

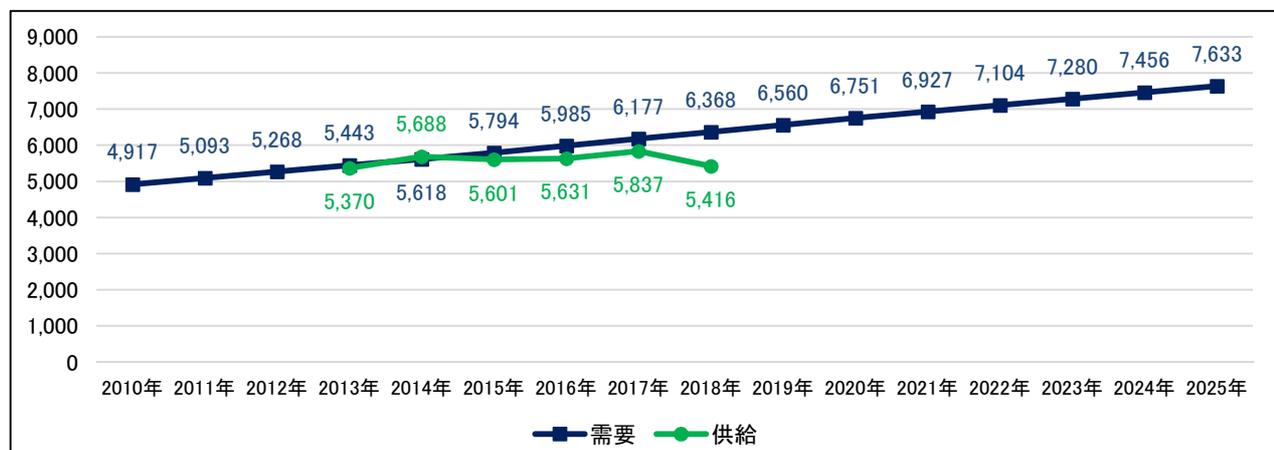
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、福山・府中の施設需要のピークは2040年の9,537人であり、2015年の5,794人と比べ、65%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、福山・府中の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要5,618人、供給5,688人と「供給>需要(+1%)」である。2018年は需要6,368人、供給5,416人と「供給<需要(-15%)」である。福山・府中の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



福山・府中

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,200人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,983床(偏差値47)、高齢者住宅等が2,217床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム44、軽費ホーム50、グループホーム62、サ高住(特定施設)60である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値67と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値53と全国平均レベルをやや上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
福山・府中	6,200	17.3%	90	49	3,983	16.3%	58	47	2,217	19.4%	32	52

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
福山・府中	1,483	16.3%	21	48	2,263	17.8%	33	48	237	9.1%	3.4	49

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
福山・府中	576	13.1%	8.3	44	100	19.3%	1.4	50	1,321	23.2%	19.1	62

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

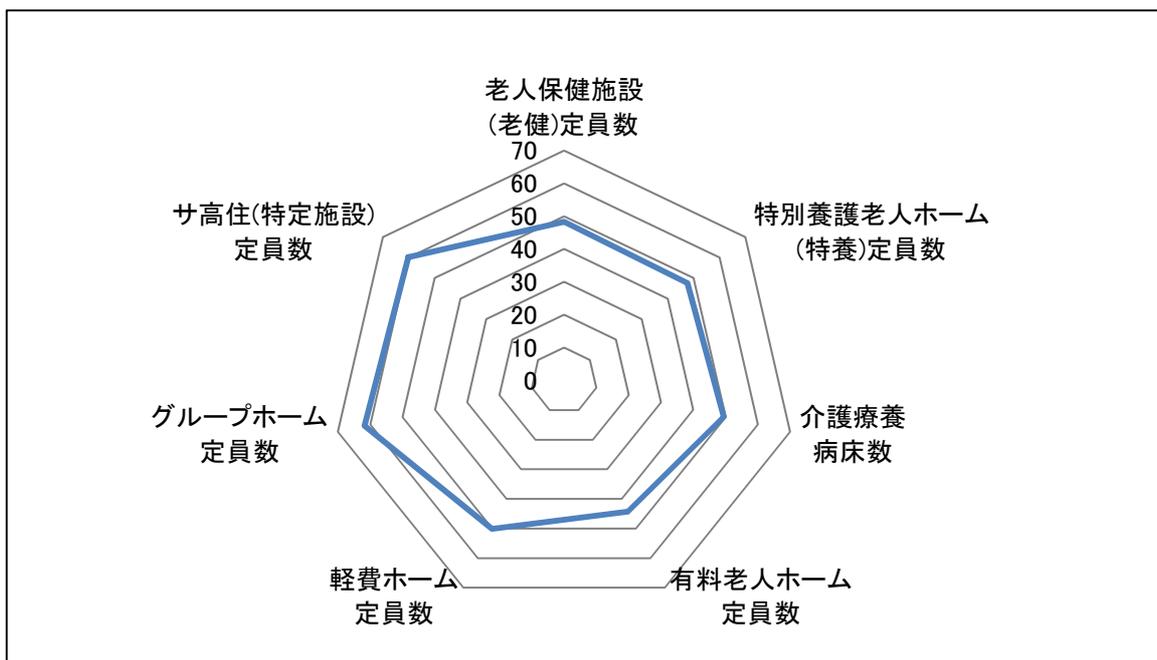
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
福山・府中	220	27.8%	3.2	60	209,785		12.9	(6.8)
					1,612	25.6%	23.4	66

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

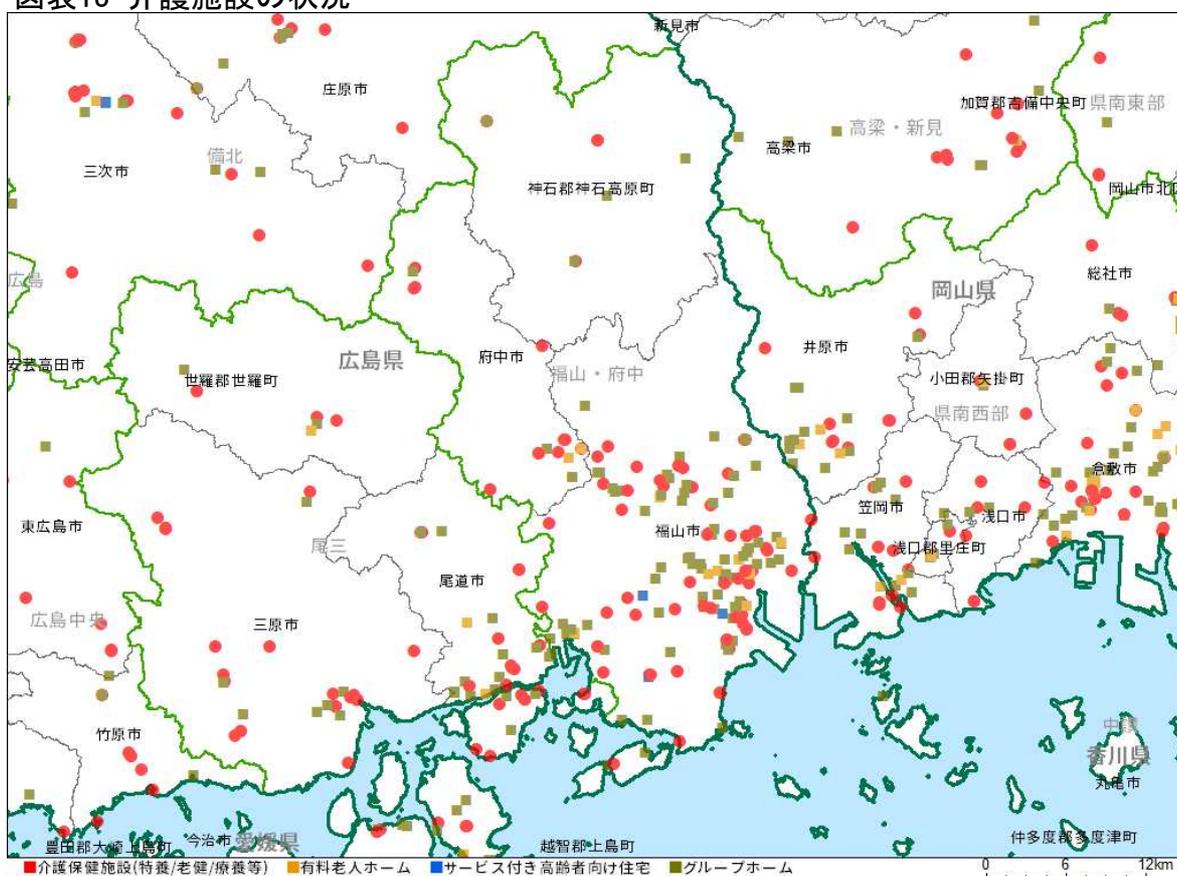
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
福山・府中	6,778	20.3%	98	67	546	16.5%	7.9	53

福山・府中

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



福山・府中

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値65と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値59と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値56と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値57と多い。

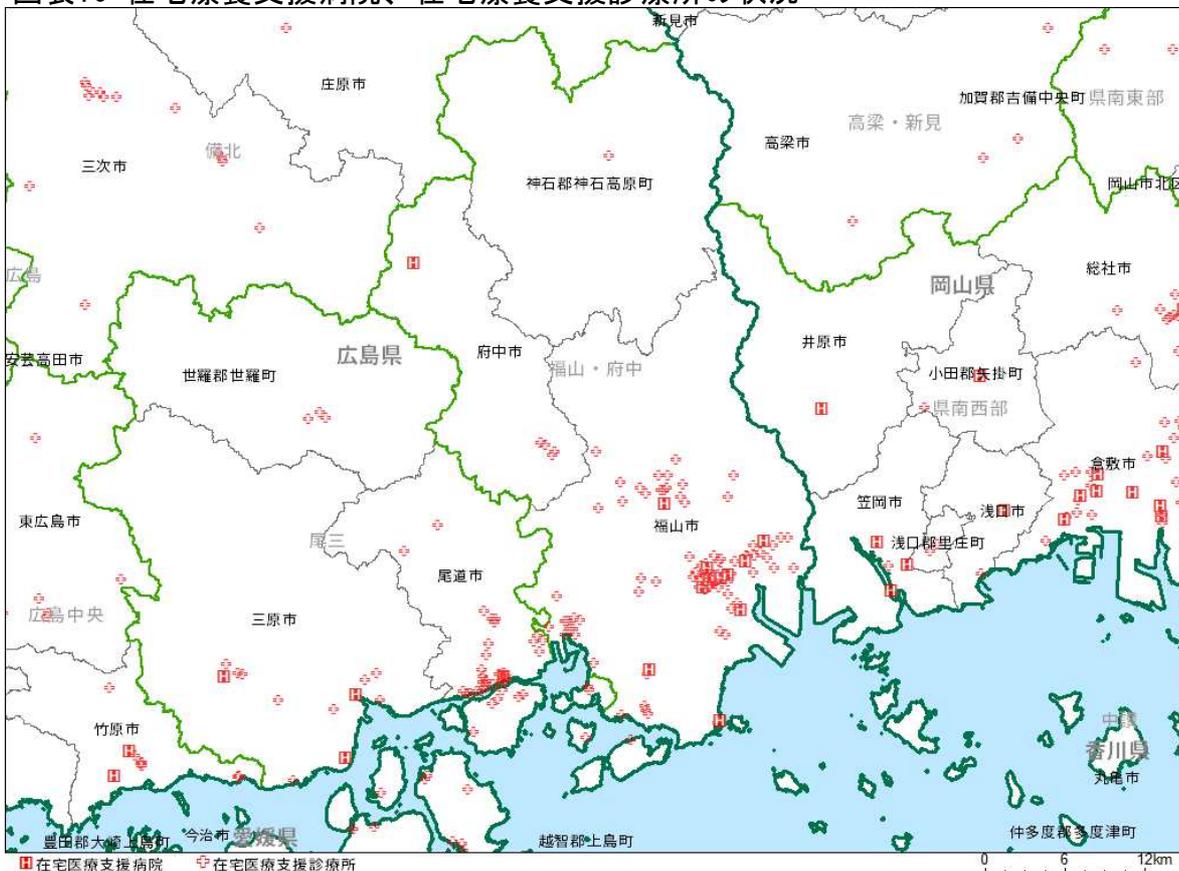
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
福山・府中	13	27.7%	0.2	65	87	15.5%	1.3	59

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
福山・府中	469	22.8%	91.2	56	492	21.7%	95.7	57

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



福山・府中

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値42と少なく、訪問看護が偏差値44と少なく、通所介護が偏差値52と全国平均レベルである。通所リハが偏差値64と多く、訪問入浴が偏差値51と全国平均レベル、短期入所が偏差値68と非常に多く、居宅介護支援が偏差値47とやや少ない。訪問介護利用者数は偏差値39と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値41と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値46と全国平均レベルをやや下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
福山・府中	102	14.3%	1.5	42	38	14.3%	0.6	44	202	21.1%	2.9	52

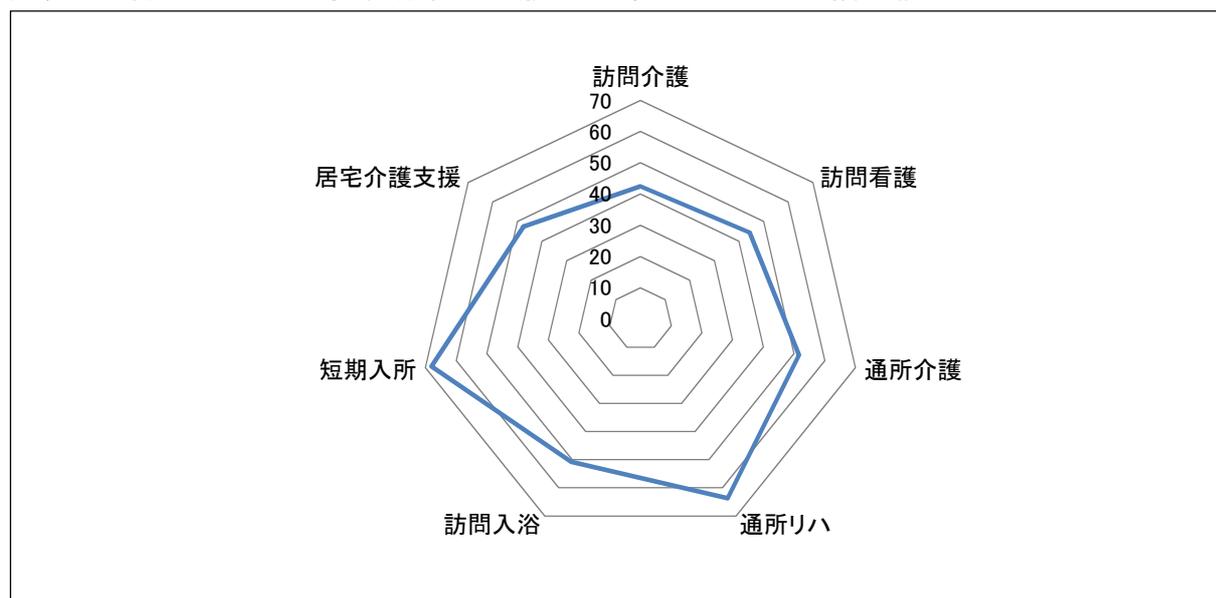
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
福山・府中	52	21.2%	0.8	64	9	20.9%	0.1	51	76	21.5%	1.1	68

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
福山・府中	162	18.5%	2.3	47

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
福山・府中	3,171	11.4%	46.0	39	607	12.5%	8.8	41	188	13.8%	2.7	46

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



備北

■ 人口動態と要介護者の現状

備北は、人口90,615人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は33,873人、高齢化率(65歳以上人口割合)は37%と非常に高い。

要介護数(認定者)は5,964人、要介護認定率は18%と非常に高い。うち要介護3以上は2,931人、要介護者数に占める割合は49%とやや高い。

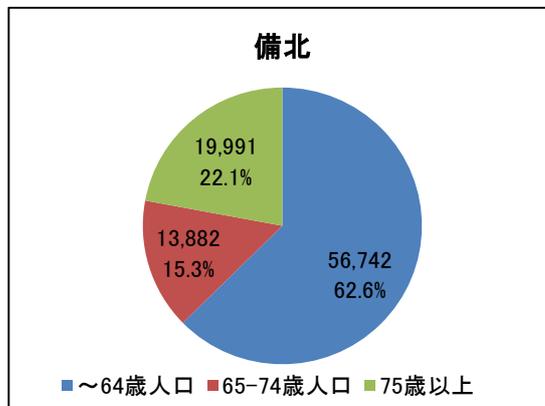
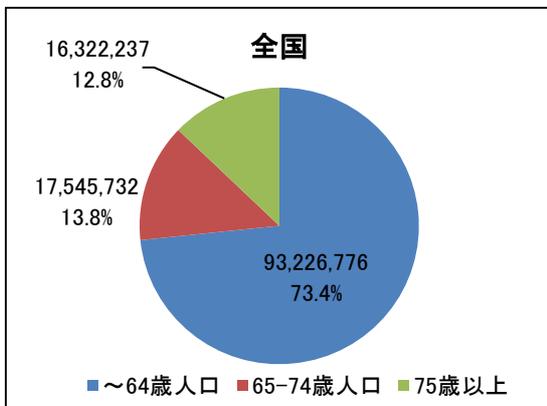
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
備北	90,615	33,873	19,991	37%	71	15,121	36%	38%

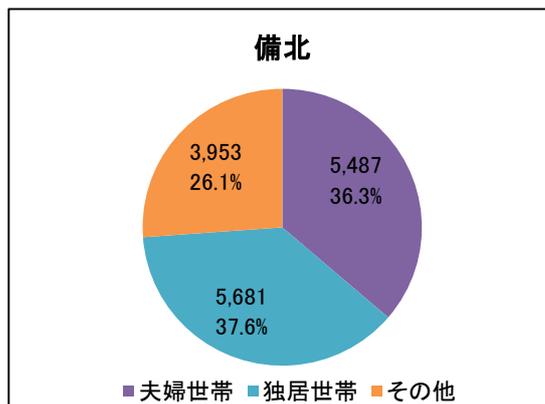
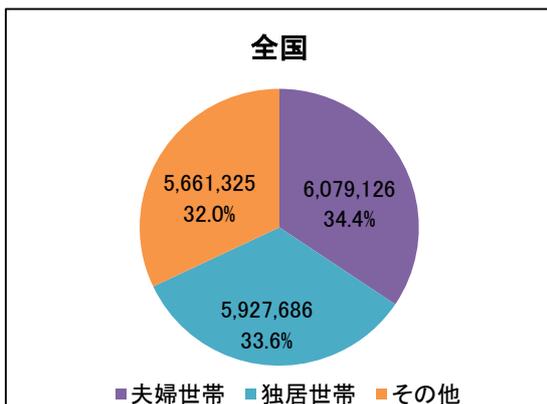
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
備北	5,964	18%	73	2,931	49%	53

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



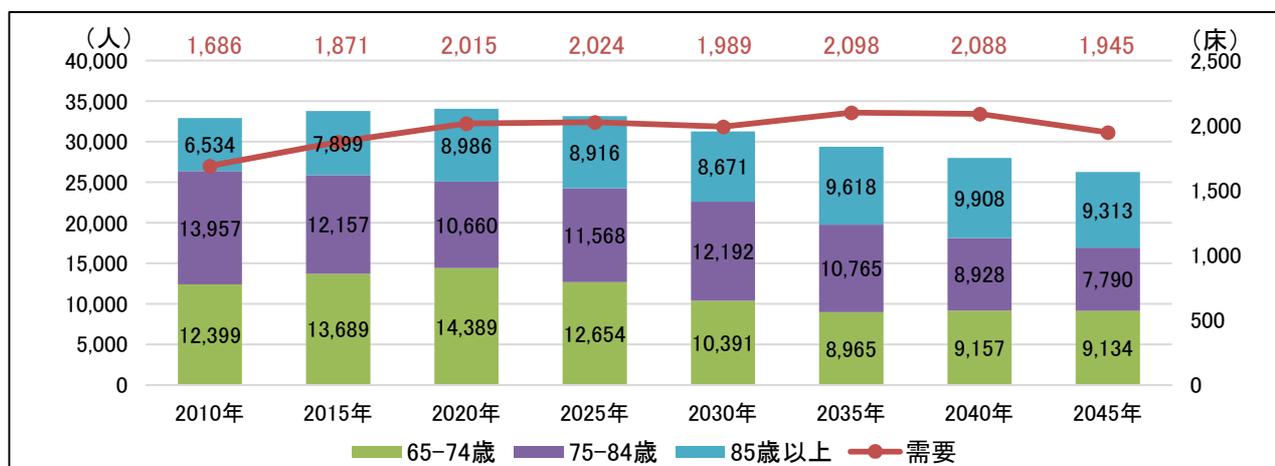
備北

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、備北の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が20,056(12,157+7,899)人であるが、ピーク時の2030年には20,863人まで増加すると推計され、2015年比4%増加する。

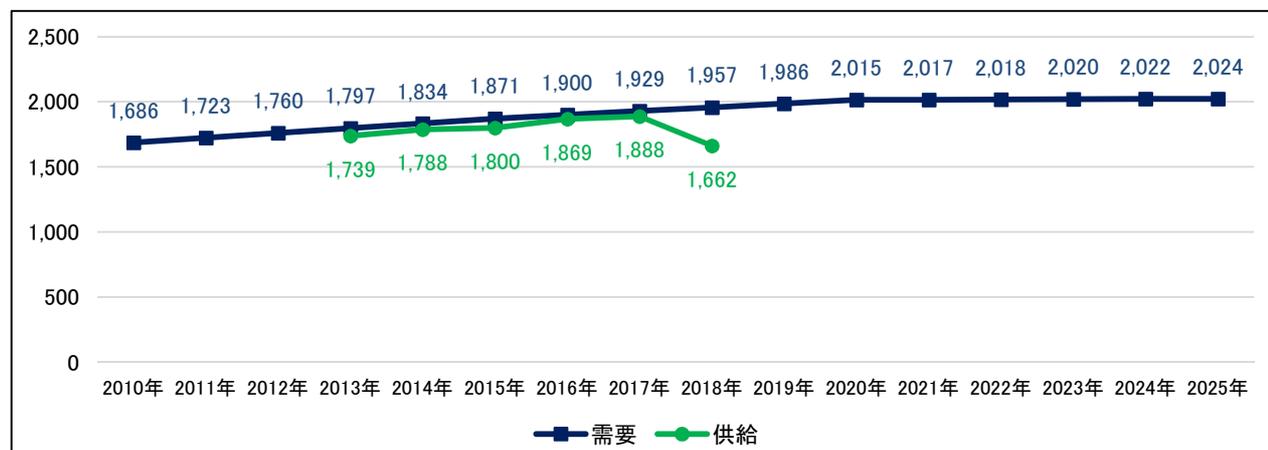
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、備北の施設需要のピークは2035年の2,098人であり、2015年の1,871人と比べ、12%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、備北の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,834人、供給1,788人と「供給<需要(-3%)」である。2018年は需要1,957人、供給1,662人と「供給<需要(-15%)」である。備北の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年のかなり不足の状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



備北

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,901人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,459床(偏差値59)、高齢者住宅等が442床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム40、軽費ホーム69、グループホーム48、サ高住(特定施設)54である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値58と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値51と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
備北	1,901	5.3%	95	53	1,459	6.0%	73	59	442	3.9%	22	44

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
備北	495	5.4%	25	54	875	6.9%	44	59	89	3.4%	4.5	52

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
備北	66	1.5%	3.3	40	110	21.3%	5.5	69	225	4.0%	11.3	48

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

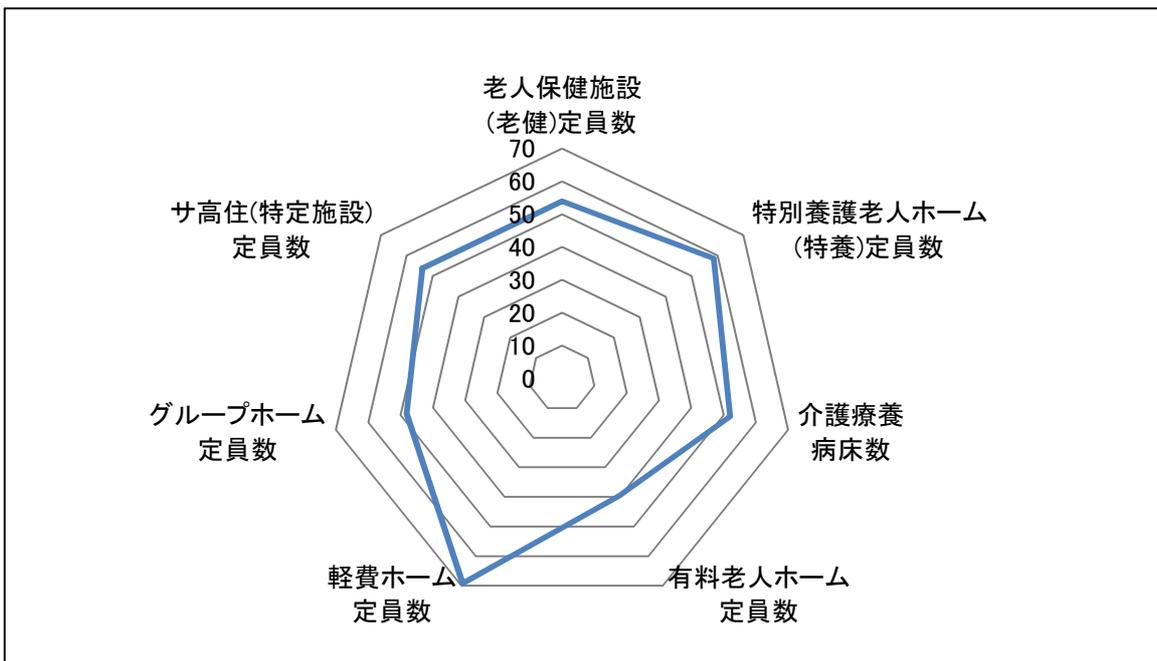
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
備北	41	5.2%	2.1	54	209,785		12.9	(6.8)
					103	1.6%	5.2	39

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

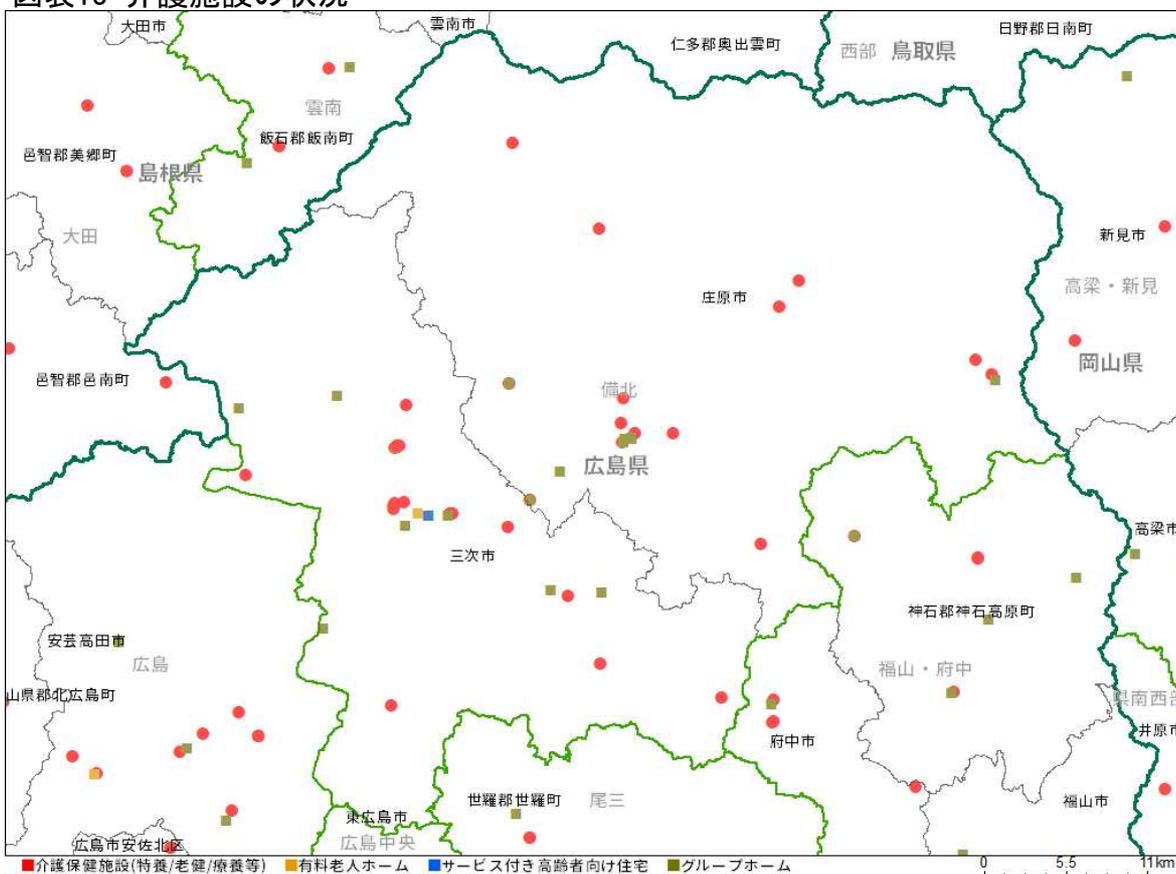
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
備北	1,762	5.3%	88	58	151	4.6%	7.5	51

備北

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



備北

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値39と少なく、訪問看護が偏差値40と少なく、通所介護が偏差値47とやや少ない。通所リハが偏差値54とやや多く、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値74と非常に多く、居宅介護支援が偏差値46とやや少ない。訪問介護利用者数は偏差値45とやや少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値40と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値37と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
備北	24	3.4%	1.2	39	9	3.4%	0.5	40	49	5.1%	2.5	47

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
備北	11	4.5%	0.6	54	2	4.7%	0.1	48	25	7.1%	1.3	74

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
備北	45	5.1%	2.3	46

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
備北	1,250	4.5%	62.5	45	164	3.4%	8.2	40	36	2.7%	1.8	37

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）

